

第38回日本呼吸療法 医学会学術集会

The 38th Annual Meeting of the Japan Society of Respiratory Care Medicine

プログラム

テーマ「明日の呼吸を科学する」

2016年(平成28年)7月16日(土)～17日(日)

名古屋国際会議場

〒456-0036 名古屋市熱田区熱田西町1番1号

TEL : 052-683-7711

会長 西田 修

藤田保健衛生大学医学部 麻酔・侵襲制御医学講座

ごあいさつ

第38回日本呼吸療法医学会学術集会

会長 西田 修

(藤田保健衛生大学医学部 麻酔・侵襲制御医学講座 主任教授、集中治療部部长)

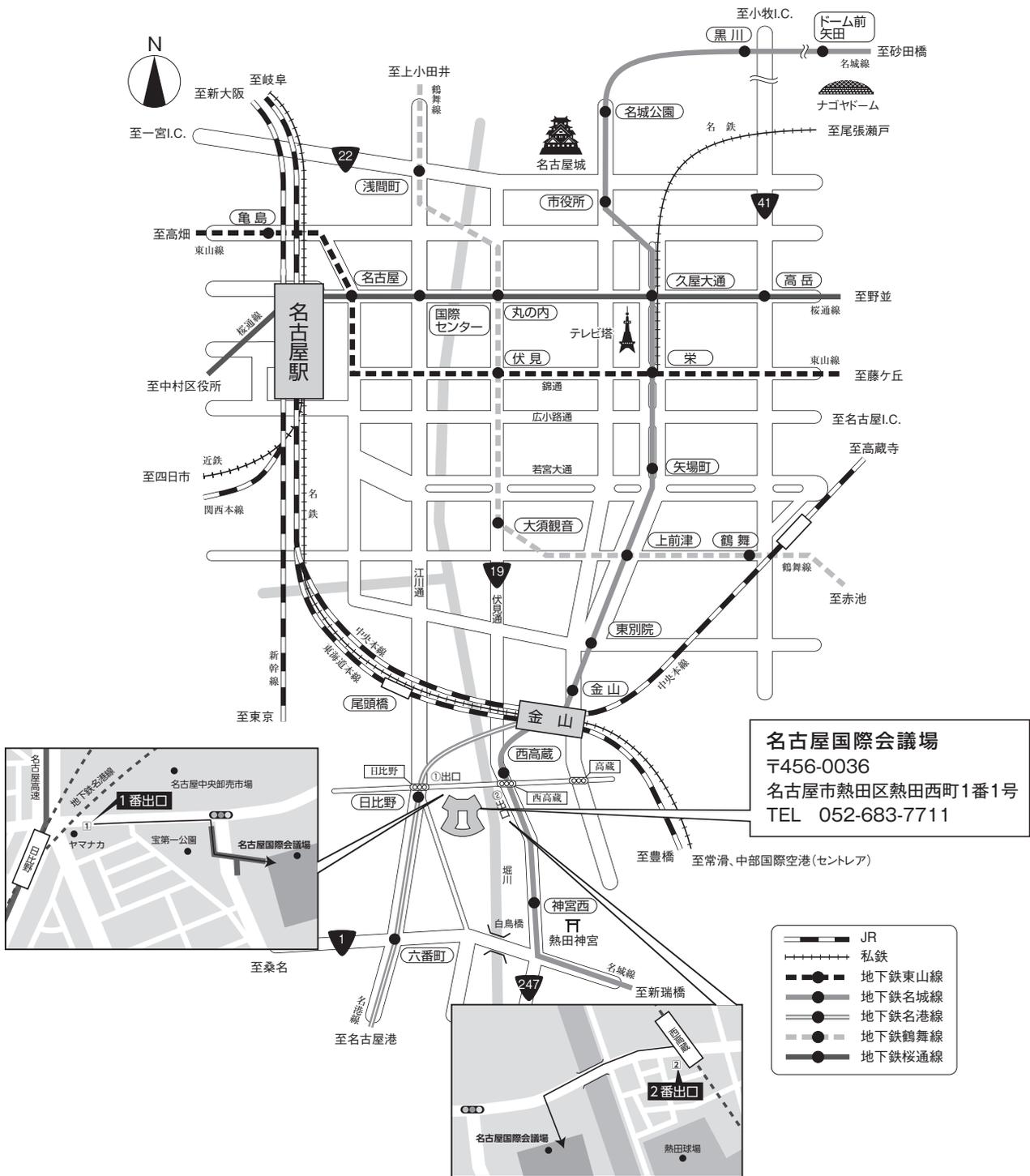
第38回の学術集会を、2016年7月16日(土)、17日(日)に名古屋国際会議場にて開催させていただきます。開催にあたり、会員の皆さまはもとより、様々な側面から支えてくださった関係各位に心より御礼申し上げます。

今回のテーマは、「明日の呼吸を科学する」とさせていただきました。前回会長の橋本 悟先生がテーマとされた「やすらかな呼吸を求めて」を実現するために、呼吸そのものを今一度見つめなおし、近未来の呼吸管理はどうあるべきかをアカデミックに考える場としたいとの思いを込めています。私自身、呼吸は単に換気力学的な側面からだけでなく、自律神経や精神面など多様な観点から考えるべきであると考え向き合ってきました。この立場から、メディアでも広く活躍されている明治大学文学部教授の斎藤 孝先生に「呼吸は心身をつなぐ～息の人間学～」のタイトルで特別招請講演をお願いいたしました。

学術企画も目白押しです。新しいARDSガイドライン、小児在宅人工呼吸マニュアル、早期リハビリテーションエキスパートコンセンサスなどのお披露目をはじめ、超急性期から地域医療、在宅まで幅広く企画しました。また、緊急企画として、「熊本地震における小児在宅患者家族とスタッフの対応」、「H1N1インフルエンザと急性呼吸不全」を組み入れました。昨年好評だった文献レビューは、ARDSだけでなく幅を広げて取り上げて頂きます。集中治療のシンポジウムでは、肺と他臓器との臓器連関などを取り上げました。ECMOに関しては、デバイスや管理中心で話題が集中しがちでしたが、昨今技術も進歩し、我々の施設でも筆談や端座位も可能になりました。そこで、今回はAwake ECMOに焦点を当てます。そして、これら医療技術の進歩の先にある、「それでも救えない命の終末期医療」は、我々が直面しつつある大きな問題です。急性期の呼吸管理と倫理の側面にスポットを当て、この領域における第一人者である前理事長の氏家良人先生に特別講演をして頂きます。ハンズオンも経肺圧、J-PAD、肺エコー、早期リハビリテーション、ウエットラボなど多数揃えました。教育プログラムも多数企画し、研修医並びにメディカルスタッフ向けの「よくわかるセミナー」16本と、医師向けの「エキスパートセミナー」7本を用意いたしました。臨床統計疫学での第一人者、新谷 歩先生には、初級向けと中級向けの統計学講義を賜ります。医工連携プログラムには、フロアを交えた活発な討論を期待し、人工呼吸器の開発メーカーと使い手の医師によるパネルディスカッションを取り入れました。各領域で、海外から著名な演者を大勢お呼びしておりますが、すべて同時通訳を用意致しました。お陰様で、一般演題にも大変多くの応募を頂きました。特に優秀な10演題を厳選し、Best Presentation Award候補演題のセッションを設け、会員懇親会にて受賞者の発表・表彰を行います。

7月の名古屋は大変「暑い」ですが、冷房の効いた会場で「熱い」ディスカッションを交わしながら、「明日の呼吸を科学する」をテーマに繰り広げられるアカデミックなひと時と多職種間の交流をご堪能いただければ幸甚です。

皆様のご来場を、心よりお待ちしております。



名古屋国際会議場
 〒456-0036
 名古屋市熱田区熱田西町1番1号
 TEL 052-683-7711

名古屋駅	タクシー	名古屋駅 → 名古屋国際会議場	約20分	約2,000円
	地下鉄	名古屋駅 → 東山線「栄」のりかえ → 名港線「日比野」下車 → 名鉄線「西高蔵」下車 徒歩約5分 → 名古屋国際会議場	約20分	地下鉄 240円
中部国際空港 セントレア	名鉄線 + 地下鉄	中部国際空港 → 名鉄線ミュースカイ約25分 → 金山 地下鉄2分 → 名古屋国際会議場	約40分	名鉄線 1,170円 (特別車両券含む)
		名港線「日比野」下車 → 名鉄線「西高蔵」下車 徒歩約5分 → 名古屋国際会議場		地下鉄 200円

●公共交通機関をご利用ください

金山駅⇔会場間シャトルバスのご案内

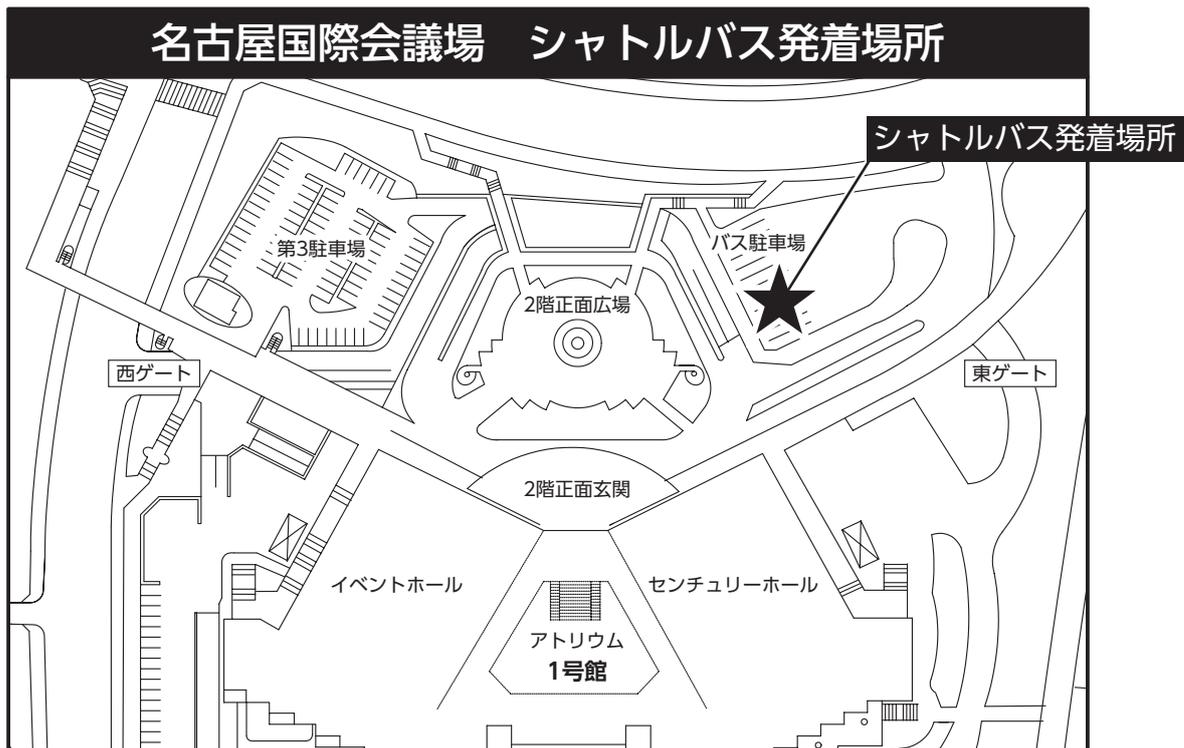
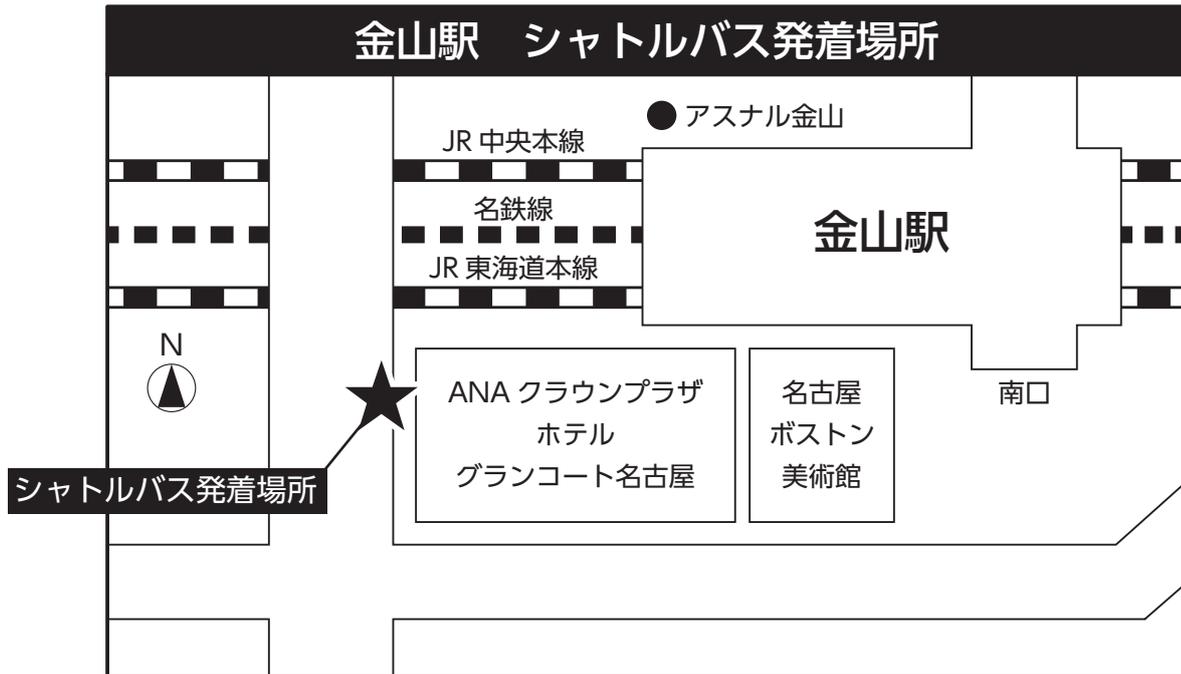
下記の要領で運行します。所要時間は約10分です。

7月16日（土）7：30～11：30／16：30～18：30（約15分間隔）

*懇親会終了後（19：30予定）に会場⇒金山駅の臨時便を運行します。

（台数に限りがありますので、ご乗車いただけない場合があります。）

7月17日（日）7：15～11：30／16：00～17：30（約15分間隔）

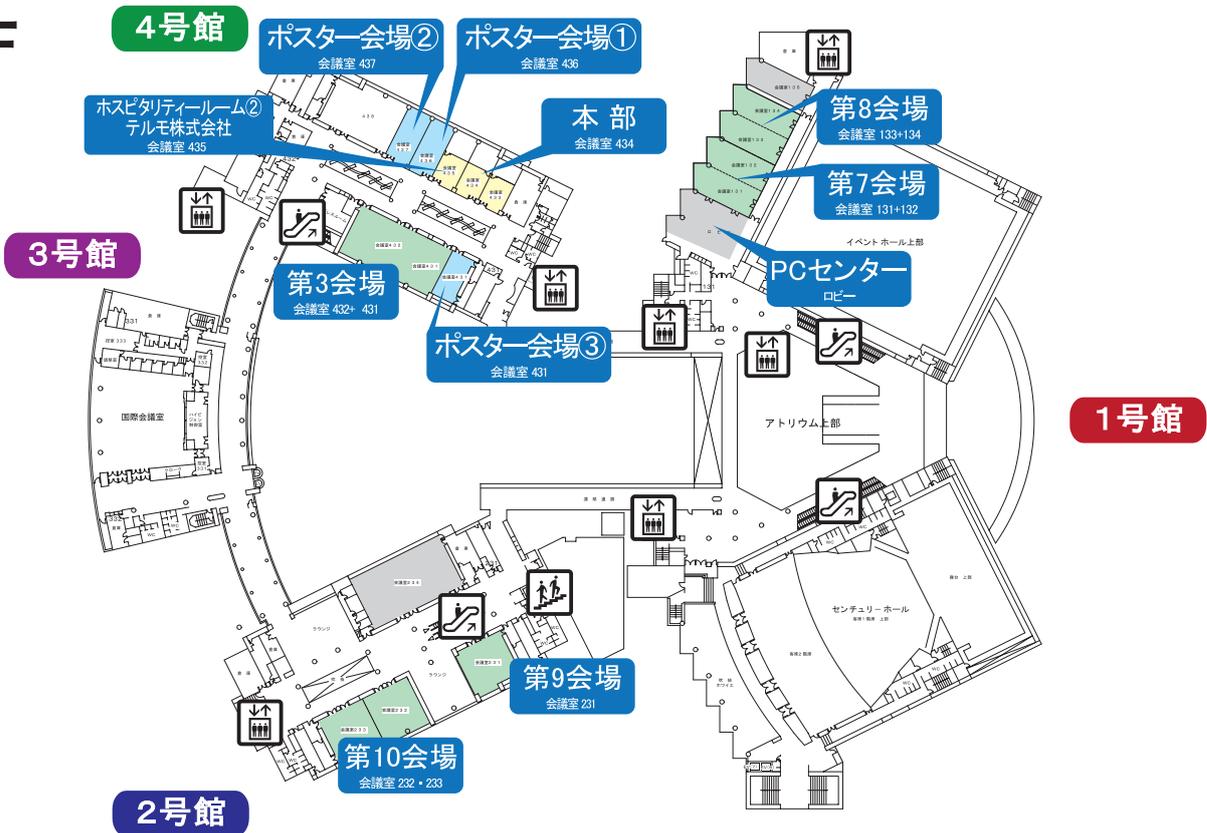


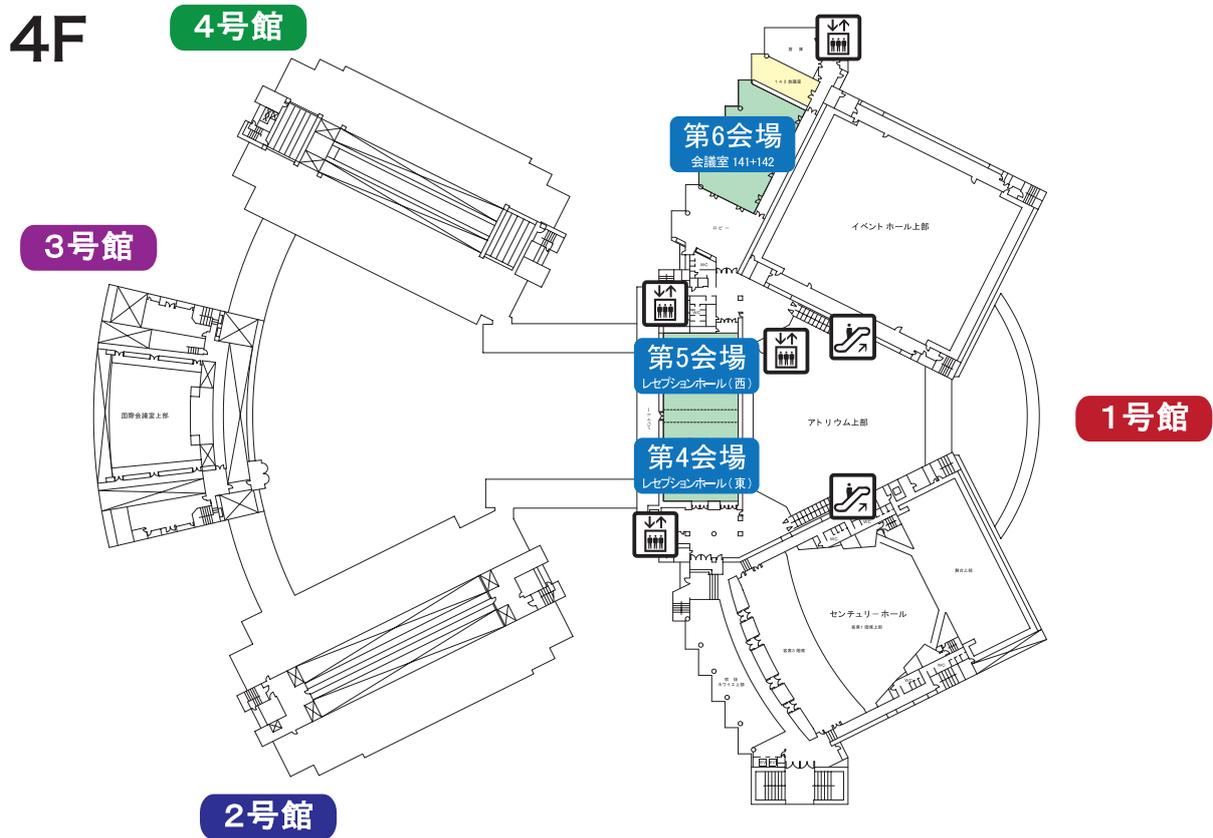
名古屋国際会議場

1F



3F







	第1会場 4号館1階 白鳥ホール北	第2会場 4号館1階 白鳥ホール南	第3会場 4号館3階 432+431	第4会場 1号館4階 レセプションホール東	第5会場 1号館4階 レセプションホール西
	8:55 ~ 9:00 開会挨拶				
9:00	9:00 ~ 11:00 シンポジウム 1 新しいARDS診療ガイドライン 座長：橋本 悟、讃井将満 演者：讃井将満、南郷栄秀 大下慎一郎、江木盛時	9:00 ~ 9:30 基調講演 1 Lung protective ventilation and place of proportional modes 座長：川前金幸 演者：Laurent Brochard 9:30 ~ 11:00 シンポジウム 3 Welcome to PLUG (Pleural Pressure Working Group) : ICUで食道内圧を測定してみよう！ 座長：川前金幸、竹内宗之 演者：Laurent Brochard 内山昭則、吉田健史 竹川良介	9:00 ~ 11:00 ワークショップ 1 小児在宅人工呼吸療法 マニュアル案の ブラッシュアップに向けて 座長：田村正徳、渡部晋一 演者：尾崎孝平、渡部晋一 石川悠加、寺澤大祐 松井 晃、木原秀樹 笠井 健、緒方健一	9:00 ~ 11:00 シンポジウム 2 VAE サーベイランス再考： 真に遂行可能なのか？ 有益なのか？ 座長：多治見公高、志馬伸朗 演者：中橋 奨、森兼啓太 伊藤雄介、林 淑朗 渡邊都貴子	9:15 ~ 9:55 学会特別企画講演～先達に学ぶ～ 病院の再建に取り組む、事業管理者の思いを伝える局長メッセージ 座長：西田 修 演者：並木昭義
10:00					10:00 ~ 12:00 パネルディスカッション 1 近頃 NPPV について 考えたいこと 座長：石原英樹、濱本実也 演者：横山俊樹、古川力丸 石橋一馬、齋藤修平 野口裕幸
11:00	11:10 ~ 12:00 招請講演 1 Management of acute respiratory distress syndrome: Prevention, plan, and prudence 座長：西村匡司 演者：Younsuck Koh	11:10 ~ 12:00 招請講演 2 Quality of life in the ICU and trajectories over time in critical care survivors 座長：橋本 悟 演者：Peter E. Spronk	11:10 ~ 12:00 エキスパートセミナー 1 集中治療領域の 呼吸器画像診断のポイント 座長：磨田 裕 演者：一門和哉	11:10 ~ 12:00 教育講演 1 ICU-acquired weakness と Post-Intensive Care Syndrome 病態生理と最新の知見 座長：布宮 伸 演者：井上茂亮	
12:00					
13:00	12:20 ~ 13:10 ランチョンセミナー 1 Optimizing sedation, analgesia and delirium in the ICU to improve patient outcomes 座長：布宮 伸 演者：Dale M. Needham 共催：丸石製薬(株)	12:20 ~ 13:10 ランチョンセミナー 2 Patient-Ventilator interactions. Problems and solutions. 座長：山田芳嗣 演者：Laurent Brochard 共催：コヴィディエン ジャパン(株)	12:20 ~ 13:10 ランチョンセミナー 3 間質性肺炎急性増悪に対する PMX 療法 座長：竹田晋浩 演者：阿部信二 共催：東レ(株)/東レ・メディカル(株)	12:20 ~ 13:10 ランチョンセミナー 4 急性呼吸不全における腎不全 と血液浄化療法 座長：氏家良人 演者：土井研人 共催：旭化成メディカル(株)	12:20 ~ 13:10 ランチョンセミナー 5 ICUにおける食道内圧測定： 有用性と展望 座長：西田 修 演者：吉田健史 共催：アイ・エム・アイ(株)
14:00	13:20 ~ 15:20 シンポジウム 4 肺と肺以外臓器との連関 における集中治療 座長：垣花泰之、幸村英文 コメンテータ： Younsuck Koh 演者：清水健太郎、櫻谷正明 土井研人、廣瀬智也 中村智之、若林健二 協賛：ネスレ日本(株) ネスレヘルスサイエンスカンパニー	13:20 ~ 15:20 シンポジウム 5 人工呼吸器離脱前後のケア のあり方 座長：讃井将満、田村富美子 演者：田村富美子、吹田奈津子 菊池 忠、橋内伸介 飯塚悠祐	13:20 ~ 15:00 Best Presentation Award 候補演題 座長／審査員長：落合亮一 審査員：妙中信之、竹田晋浩 布宮 伸	13:20 ~ 15:20 パネルディスカッション 2 どのようにして Rapid Response System を 導入するか？ 座長：安宅一晃、森安恵実 演者：本田隆宏、早川聖子 升田好樹、新井正康	13:20 ~ 15:20 シンポジウム 6 在宅人工呼吸療法 (HMV) ～現場での挑戦と工夫～ 座長：蝶名林直彦、石川悠加 演者：富井啓介、竹川幸恵 春田良雄、三浦利彦 長尾和宏 協賛：アボット ジャパン(株)
15:00			15:05 ~ 15:55 エキスパートセミナー 2 EIT 座長：時岡宏明 演者：吉田健史		
16:00	15:30 ~ 17:30 ワークショップ 2 文献レビュー： 急性呼吸不全管理 －人工呼吸療法の周辺－ 座長：藤野裕士、市場晋吾 演者：小竹良文、志馬伸朗 柴田純平、中村利秋 小倉崇以	15:30 ~ 16:20 基調講演 2 ICU-based rehabilitation: Understanding the latest evidence 座長：尾崎孝平 演者：Dale M. Needham 16:20 ~ 17:50 シンポジウム 7 早期リハビリテーションにおける 多職種連携の課題と解決策 ～人工呼吸器患者の離床から～ 座長：安藤守秀、濱本実也 コメンテータ： Dale M. Needham 演者：河合佑亮、神谷健太郎 劉 啓文、飯田有輝 尾崎孝平	16:00 ~ 16:50 教育講演 2 敗血症性血管内皮細胞障害と NETs 座長：升田好樹 演者：伊藤隆史		
17:00			16:55 ~ 17:45 エキスパートセミナー 3 人工呼吸器グラフィック 座長：山口 修 演者：古川力丸		
18:00				18:00 ~ 会員懇親会	



📞: 同時通訳あり

第6会場 1号館 4階 141+142	第7会場 1号館 3階 131+132	第8会場 1号館 3階 133+134	第9会場 2号館 3階 231	第10会場 2号館 3階 232+233	第11会場 2号館 2階 222+223	ポスター会場 1・2・3		
						4号館 3階 436	4号館 3階 437	4号館 3階 431
						8:30 ~ 9:00 ポスター貼付		
9:00 ~ 9:40 よくわかるセミナー 1 初心者でもわかる！ 血液浄化療法の基礎 座長：鈴木正之 演者：原 嘉孝	9:00 ~ 9:45 一般演題口演 1 ハイフロー療法 1 座長：中沢弘一 豊崎正人	9:00 ~ 9:45 一般演題口演 2 ECMO1 座長：中野 実 鈴木健一						
9:45 ~ 10:25 よくわかるセミナー 2 実践に活かす！呼吸生理 と血液ガス分析の見方 座長：尾頭希代子 演者：氏家良人	9:45 ~ 10:39 一般演題口演 3 ハイフロー療法 2 座長：坪井知正 幸村英文	9:45 ~ 10:30 一般演題口演 4 痛み・不穏・せん妄管理 座長：西 信一 茂呂悦子						
10:30 ~ 11:10 よくわかるセミナー 3 すっきり整理！人工呼吸 器換気モードの基礎 座長：明石 学 演者：大塚将秀	10:39 ~ 11:15 一般演題口演 6 加温加湿 座長：桑迫勇登 石井宣大	10:30 ~ 11:15 一般演題口演 5 呼吸理学療法・ リハビリテーション 1 座長：中川 隆 里井陽介						
11:15 ~ 11:55 よくわかるセミナー 4 プロトコルから学ぶ！ 人工呼吸器離脱 座長：横田浩史 演者：尾崎孝平	11:15 ~ 11:51 一般演題口演 7 小児の在宅人工呼吸管理 座長：渡部晋一 松井 晃	11:15 ~ 12:00 一般演題口演 8 呼吸理学療法・ リハビリテーション 2 座長：池崎弘之 安藤幸吉						
12:20 ~ 13:10 ランチョンセミナー 6 Ernest Starling 再考 一血管透過性・心機能 座長：落合亮一 演者：宮尾秀樹 共催：(株)大塚製薬工場	12:20 ~ 13:10 ランチョンセミナー 7 小児在宅人工呼吸療法-普及に課題すべきこと- 座長：石川悠加 演者：渡部晋一 共催：フクダ電子(株) / フクダライフテック(株)	12:20 ~ 13:10 ランチョンセミナー 8 緑膿菌肺炎に対する ガンマグロブリンの効果 座長：妙中信之 演者：佐和貞治 共催：一般社団法人日本血液浄化						
13:20 ~ 14:00 よくわかるセミナー 5 やさしく理解しよう！ ARDS と肺保護戦略 座長：星 邦彦 演者：藤野裕士	13:20 ~ 14:14 一般演題口演 9 NPPV 座長：相澤 純 櫻本秀明	13:20 ~ 14:05 一般演題口演 10 呼吸理学療法・ リハビリテーション 3 座長：島田二郎 南條裕子						
14:05 ~ 15:25 よくわかるセミナー 6 (編集委員会企画) コメディカルのための 呼吸療法論文作成 テクニック：初級編 座長：中根正樹 内山昭則 演者：中根正樹 松本幸枝 内山昭則 佐藤大二 長谷川隆一	14:14 ~ 15:08 一般演題口演 12 VAE・排痰補助・感染 座長：山内順子 林 淑朗	14:05 ~ 14:50 一般演題口演 11 気道管理 1 座長：山崎道明 大家宗彦						
15:30 ~ 16:10 よくわかるセミナー 7 これでうまくいく！ NPPV の進め方 座長：安本和正 演者：長谷川隆一	15:08 ~ 15:53 一般演題口演 14 教育 1 座長：渡海裕文 大江理英	14:50 ~ 15:35 一般演題口演 13 医療安全 1 座長：大村昭人 山本信章						
16:15 ~ 16:55 よくわかるセミナー 8 初心者でもわかる！ ECMO の基礎 座長：田勢長一郎 演者：中村智之	15:53 ~ 16:38 一般演題口演 16 教育 2 座長：高橋伸二 山崎富善	15:35 ~ 16:29 一般演題口演 15 医療安全 2 座長：鮎川勝彦 山崎早苗						
17:00 ~ 17:40 よくわかるセミナー 9 今さら聞けない！呼吸の フィジカルアセスメント 座長：卯野木健 演者：新井正康	16:38 ~ 17:23 一般演題口演 17 ウイニング 座長：小野寺睦雄 松本幸枝							
						17:30 ~ 18:00 ポスター撤去		

一般演題ポスター 1 人工呼吸器他 座長：笹野 寛
一般演題ポスター 2 ハイフロー療法 座長：坪内宏樹

11:10 ~ 11:52 一般演題
ポスター
発表 1・2
11:10 ~ 11:45 一般演題
ポスター
発表 3・4
11:10 ~ 11:38 一般演題
ポスター
発表 5・6

一般演題ポスター 3 RST1 座長：天谷文昌
一般演題ポスター 4 成人の在宅呼吸管理 1
座長：長野 修

一般演題ポスター 5 ECMO 症例 座長：青景聡之
一般演題ポスター 6 研究・開発 座長：海塚安郎

13:30 ~ 16:30
**ハンズオンセミナー
経肺圧セミナー**
インストラクター：
則末泰博
内藤貴基
片岡 惇
岡本賢太郎
宇佐見直
竹内宗之
石川惇哉
協力：アイ・エム・アイ(株)

14:30 ~ 17:30
第 18 回実技コース
(学術集会外開催)

13:30 ~ 17:30
**ハンズオンセミナー
肺エコーハンズオンセミナー
Focused Lung Ultrasound
/ B of ABCD sonography**
コースディレクター：
鈴木昭広
チーフインストラクター：
野村岳志
インストラクター：
宮崎裕也
高木俊介
二階哲郎
玉城正弘
大屋聖郎
アシスタント：
岡本洋史
光本保英



	第1会場 4号館1階 白鳥ホール北	第2会場 4号館1階 白鳥ホール南	第3会場 4号館3階 432+431	第4会場 1号館4階 レセプションホール東	第5会場 1号館4階 レセプションホール西
9:00	8:40~9:30 会長講演 私と急性期呼吸管理 ーこれまでのこと、 これからのことー 座長：岡元和文 演者：西田 修	8:40~10:40 ワークショップ 3 早期リハビリテーション エキスパートコンセンサス 座長：尾崎孝平、神津 玲 演者：飯田有輝、山下康次 安藤守秀、小幡賢吾 小松由佳	8:40~10:40 シンポジウム 8 地域での切れ目のない 呼吸ケアを目指して 座長：鮎川勝彦、春田良雄 演者：飛野和則、田中恵子 前川将紀、加藤聡之 野口あすか、中山優季	9:10~10:40 エキスパートセミナー 4 医療統計セミナー (初級編) 座長：江木盛時 演者：新谷 歩	8:40~10:40 パネルディスカッション 3 人工呼吸器離脱困難小児の管理 座長：中川 聡、竹内宗之 演者：内山昭則、川崎達也 壺井伯彦、橋 一也 共催：エア・ウォーター防災(株)
10:00	9:40~11:40 シンポジウム 9 Awake ECMO 座長：市場晋吾、中村智之 演者：杉浦光行、河合佑亮 原 嘉孝、平澤 純 菅なつみ、鈴木裕之 萩原祥弘、青景聡之				
11:00		10:50~11:40 招請講演 3 Impact of critical illness on long-term outcomes 座長：大塚浩司 演者：Hannah Wunsch	10:50~11:40 特別講演 1 (医工連携プログラム) 可搬型・小型血液浄化システム の臨床応用への挑戦 (第2報) 座長：林久美子 演者：松田兼一	10:50~11:40 エキスパートセミナー 5 肺エコー 座長：野村岳志 演者：鈴木昭広	10:50~11:40 特別講演 2 急性期呼吸不全の管理と 倫理的側面 座長：川前金幸 演者：氏家良人
12:00	12:00~12:50 ランチョンセミナー 9 Diaphragm pacing ー横隔膜ペーシングによる新たな呼吸療法 座長：鈴木康之 演者：Raymond P. Onders 共催：USCI ジャパン(株)	12:00~12:50 ランチョンセミナー 10 Lung protective ventilation with INTELLIVENT-ASV 座長：福岡敏雄 演者：Marco Maggiorini 共催：日本光電工業(株)	12:00~12:50 ランチョンセミナー 11 人工呼吸管理中の鎮痛・鎮静の考え方 座長：大塚将秀 演者：谷口 巧 共催：ファイザー(株)／ ホスピラ・ジャパン(株)	12:00~12:50 ランチョンセミナー 12 間質性肺炎急性増悪に伴う DIC の治療 座長：川前金幸 演者：津島健司 共催：旭化成ファーマ(株)	12:00~12:50 ランチョンセミナー 13 ARDS の Early Mobilization ー治療方針とリハビリ介入の実際ー 座長：尾崎孝平 演者：堀部達也 共催：パラマウントベッド(株)
13:00	13:00~14:00 特別招請講演 呼吸は心身をつなぐ ー息の人間学 座長：西田 修 演者：齋藤 孝	(中継) 特別招請講演	13:00~14:30 パネルディスカッション 4 (医工連携プログラム) 人工呼吸器開発における 医工連携 座長：中川 聡 演者：竹内宗之、中根伸一	13:00~13:50 教育講演 3 ARDS：肺血管外水分量と 治療戦略 座長：山田芳嗣 演者：田上 隆	13:00~14:00 ワークショップ 4 自発呼吸アセスメント指針 作成ワーキンググループ報告 座長・演者：尾崎孝平 討論者：関口浩至、間瀬教史 眞淵 敏、森永俊彦
14:00	14:10~15:00 招請講演 4 Can CO ₂ protect in critical care? 座長：落合亮一 演者：Brian P. Kavanagh 協賛：フクダ電子(株)	14:10~15:00 招請講演 5 Change management process of implementing automated ventilation 座長：小谷 透 演者：Marco Maggiorini	14:40~16:40 第11回 HFOV フォーラム 座長：池山貴也 一般演題：症例報告、 施設の使用状況など 演者：芳賀大樹、利根澤慧 座長：関口幸男、松田憲昌 小児 HFO に関する最近の動向 演者：中川 聡 外傷性肺損傷と HFO 演者：楢垣 聡 特発性肺線維症と HFO 演者：横山俊樹 成人領域での HFO 使用状況 演者：櫻谷正明	14:10~15:40 エキスパートセミナー 6 医療統計セミナー (中級編) 座長：原 嘉孝 演者：新谷 歩	14:10~16:10 パネルディスカッション 5 RST の現状と課題 ーこれから先のチーム医療 に向けてー 座長：長谷川隆一、春田良雄 演者：西村直樹、開 正宏 松本武志、藤岡智恵 大林修文、長谷川隆一
15:00	15:10~17:00 パネルディスカッション 7 High Flow Oxygen Therapy ー理論から臨床実施までー 座長：蝶名林直彦、小谷 透 演者：佐藤 晋、庄野敦子 森山 潔、曾根玲司那 公文啓二	15:10~16:50 パネルディスカッション 8 (緊急企画) 緊急報告： H1N1 インフルエンザと 急性呼吸不全 座長：竹田晋浩 演者：長谷川秀樹、大下慎一郎 鈴木裕之、後藤祐也 萩原祥弘、阿南圭祐			
16:00				15:50~16:40 エキスパートセミナー 7 人工呼吸患者の栄養療法 座長：小谷穰治 演者：巽 博臣	
17:00	17:00~17:05 閉会挨拶				
18:00					



📞: 同時通訳あり

第6会場 1号館 4階 141+142	第7会場 1号館 3階 131+132	第8会場 1号館 3階 133+134	第9会場 2号館 3階 231	第10会場 2号館 3階 232+233	第11会場 2号館 2階 222+223	ポスター会場 1・2・3		
						4号館 3階 436	4号館 3階 437	4号館 3階 431
			8:20~11:50 ハンズオンセミナー J-PAD ハンズオンセミナー コーディネーター: 布宮 伸 インストラクター: 植村 桜 古賀雄二 吹田奈津子 茂呂悦子 鶴田良介 西 信一 長谷川隆一			8:30~9:00 ポスター貼付		
8:40~9:20 よくわかるセミナー 10 事例から学ぶ! 人工呼吸管理中の事故対策 座長: 水谷太郎 演者: 齋藤浩二	8:40~9:25 一般演題口演 18 急性肺障害 座長: 久木田一朗 土井松幸	8:40~9:25 一般演題口演 19 ECMO2 (症例) 座長: 鈴木裕之 南 茂				一般演題ポスター 7 医療安全 座長: 清水 雄 一般演題ポスター 8 RST2 座長: 瀬尾龍太郎		
9:25~10:05 よくわかるセミナー 11 実践につなげる! HFNC (High-flow nasal cannula) の使い方 座長: 服部友紀 演者: 小松聖史	9:25~10:19 一般演題口演 20 HFOV・BCV 座長: 大下慎一郎 横山俊樹	9:25~10:10 一般演題口演 21 RST1 座長: 藤本潤一 森松 静				9:40~10:29 一般演題 ポスター 発表 7・8	9:40~10:15 一般演題 ポスター 発表 9・10	9:40~10:22 一般演題 ポスター 発表 11・12
10:10~10:50 よくわかるセミナー 12 これで安心! 安全で効果的な口腔ケア 座長: 柳下芳寛 演者: 松尾浩一郎	10:19~10:55 一般演題口演 23 気道管理 2 座長: 遠井健司 野口裕幸	10:10~10:55 一般演題口演 22 RST2 座長: 森永俊彦 岡本一彦				一般演題ポスター 9 ウィニング 座長: 今泉 均 一般演題ポスター 10 呼吸理学療法・リハビリテーション 座長: 鶴澤吉宏		
10:55~11:35 よくわかるセミナー 13 あなたならどうする? 早期離床の攻めと守りの根拠 座長: 行岡秀和 演者: 神津 玲	10:55~11:40 一般演題口演 24 小児呼吸不全 座長: 齋藤 修 池山貴也	10:55~11:40 一般演題口演 25 口腔ケア 座長: 平尾 収 林 真理				一般演題ポスター 11 NPPV 座長: 武居哲洋 一般演題ポスター 12 成人の在宅呼吸管理 2 座長: 石原英樹		
12:00~12:50 ランチョンセミナー 14 重症ARDSに対するサポート療法~ECMOと血液浄化の併用~ 座長: 橋本 悟 演者: 市場晋吾 共催: パクスター(株)	12:00~12:50 ランチョンセミナー 15 肺炎診療におけるプロカルシトニン (PCT) の有用性 座長: 公文啓二 演者: 石田 直 共催: ケアフォーミー/アブ/パライッパ	12:00~12:50 ランチョンセミナー 16 ICUにおけるABCDEバンドルの実践 座長: 藤野裕士 演者: 森松博史 共催: ドレブル・メディカルジャパン						
13:00~13:50 特別発言: 震災緊急報告 熊本阿蘇地震、小児在宅人工呼吸患者家族と担当スタッフはそのときどう対応したか? 現実と課題 座長: 笠井 健 演者: 緒方健一								
14:10~14:50 よくわかるセミナー 14 急性期呼吸リハビリ (理論と実践) 座長: 宮川哲夫 演者: 安藤守秀	14:10~14:55 一般演題口演 26 ハイフロー療法 3 座長: 佐藤大三 中島正一	14:10~15:04 一般演題口演 27 研究 座長: 丸山一男 安田英人						
14:55~15:35 よくわかるセミナー 15 今はこうする! 人工呼吸患者の鎮静管理 座長: 鶴田良介 演者: 茂呂悦子	14:55~15:40 一般演題口演 28 患者管理 座長: 宮庄浩司 中西美貴	15:04~15:49 一般演題口演 29 医工連携 座長: 山下幸一 宮地哲也						
15:40~16:20 よくわかるセミナー 16 基礎から学ぶ! 小児の呼吸管理 座長: 植田育也 演者: 川崎達也	15:40~16:25 一般演題口演 30 症例 座長: 野村岳志 福光一夫		15:00~17:00 パネルディスカッション 6 人工呼吸器の適正使用と人工呼吸中の安全管理 座長: 齋藤浩二 相嶋一登 演者: 南條裕子 梶原吉春 山口嘉一 竹内宗之 大塚将秀	13:30~14:30 ハンズオンセミナー ウェットラボ (1) 「目で見える呼吸管理」 インストラクター: 幸村英文 加納正也 他 協力: コヴィディエンジャパン(株)	14:00~17:00 ハンズオンセミナー 早期リハビリテーション シミュレーションコース コースディレクター: 鶴澤吉宏 インストラクター: 藤本潤一 鶴澤吉宏 小幡賢吾 飯田有輝 渡辺伸一 平澤 純 伊藤武久 野々山忠芳 小山昌利 道永祐希 濱本実也 小島 朗 河合佑亮 畑迫伸幸 徳満和美 協力: コヴィディエンジャパン(株) パラマウントベッド(株)	15:00~17:30 ポスター撤去		



1. 参加受付

○参加申込および参加費決済をすませていただき、お届けした「QRコード」をご提示のうえ、名札（参加証・領収書）をお受け取りください。

*事前参加申込は終了しておりますが、引き続きオンライン参加申込・参加費決済を受け付けております（当日参加申込扱いですので、会員懇親会は有料となります）。ご来場前にぜひオンライン手続きをおすすめください。お届けする「QRコード」のご提示により、速やかにご入場いただけます。

➔ <http://jsrcm38.jp/participant.html>

○会場内では必ず名札をご着用ください。

日 時：2016年7月16日（土）8：00～18：00

7月17日（日）7：30～16：00

場 所：名古屋国際会議場1号館1F イベントホール

参加費：（一般）15,000円（会員・非会員共通）

（前期研修医）5,000円

（学生）無料

*前期研修医、学生の方は、受付で身分証明書のご提示が必要です。

プログラム・抄録集：2,000円

会員懇親会参加費：2,000円（事前参加申込の場合は無料）

*「e医学会カード」をご持参いただくと、その場で日本集中治療医学会の点数を登録することが可能です。

プログラムや抄録をオフライン環境で閲覧できる、携帯情報端末用アプリを開設します。

iPad、iPhone、Androidでダウンロードしてください。

<ダウンロード方法>

1. iPad、iPhoneの場合はAppStoreで、Androidの場合はGoogle Playで「呼吸療法」と検索してください。
2. 一覧の中から「第38回日本呼吸療法医学会学術集会」を選択し、インストールしてください。なお、抄録の閲覧には下記パスワードの入力が必要です。

※対応バージョンはiOS 6以上、Android 4以上です。一部の端末ではアプリが起動しない、起動したアプリが正常に動作しない等の事象が発生する可能性があります。

進呈！ レッドブック日本語版

Red Book ECMO: Extracorporeal Cardiopulmonary Support in Critical Care 4th Edition

●**会員懇親会**（7月16日（土）18:00～）のご参加者に、**抽選で10冊**当たります。

●**事前参加申込者**（2016年6月30日24：00までに参加申込を完了された方）で、**シンポジウム9「Awake ECMO」**（7月17日（日）9：40～11：40／第1会場）と**パネルディスカッション8「H1N1インフルエンザと急性呼吸不全」**（7月17日（日）15：10～16：50／第2会場）を聴講された方に、**抽選により無料で差し上げます**。各セッション15冊です。

➔ 詳細はHP <http://jsrcm38.jp/redbook.pdf> をご覧ください。

スタンプラリーでお抹茶と和菓子を進呈！

企業展示にてスタンプラリーを実施します。スタンプ5社分を集めていただきますと、呈茶コーナー（1号館1階 イベントホール左奥）にて**お抹茶と両口屋特製和菓子**（日によって種類が異なります）をお召し上がりいただけます。

両日とも**200名限定**—無くなり次第終了とさせていただきますので、お早めにお楽しみください。

2. 「3学会合同呼吸療法認定士」認定更新のための点数

20点

- * 7月18日(月・祝)開催の日本呼吸療法医学会第6回呼吸療法スタッフ講習会への参加により、さらに25点取得していただけます。

3. Best Presentation Award演題の選出について

Best Presentation Award 候補演題にノミネートされた10演題のうち3演題を目安にBest Presentation Awardを選出します。結果発表および表彰は、会員懇親会で行います。

4. 口演座長・Best Presentation Award審査員受付

日 時：2016年7月16日(土) 8:00～16:30

7月17日(日) 7:30～15:30

場 所：名古屋国際会議場1号館1F イベントホール

5. 発表データ受付(PCセンター)

日 時：2016年7月16日(土) 8:00～17:00

7月17日(日) 7:30～16:00

場 所：名古屋国際会議場1号館3F 131会議室前

6. 企業展示・書籍展示

日 時：2016年7月16日(土) 9:00～18:00

7月17日(日) 8:40～16:00

場 所：名古屋国際会議場1号館1F イベントホール

7. ホスピタリティールーム

○コヴィディエン ジャパン株式会社：224-A (2号館2F)

○テルモ株式会社：435会議室 (4号館3F)

8. クローク

日 時：2016年7月16日(土) 8:00～20:00 (会員懇親会終了時)

7月17日(日) 7:30～17:30

場 所：名古屋国際会議場1号館1F イベントホール

9. ランチョンセミナー

ランチョンセミナーはチケット制です。開催日の参加受付開始時刻(16日(土)は8:00、17日(日)は7:30)より参加受付にて先着順で配布いたします(お一人様1枚のみ/名札に付いたランチョンチケット引換券と引き換え)。定員がありますのでご了承ください。なお、ランチョンセミナー開始時刻になりましたらキャンセル待ちの方をご案内いたします。ランチョンセミナー開始後のご入場の際にはご昼食をお渡しできない場合もございますので、ご注意ください。

10. 会員懇親会

日 時：2016年7月16日(土) 18:00

会 場：名古屋国際会議場1号館4F レセプションホール (第4・第5会場)

- * Best Presentation Award 受賞演題の発表、表彰を行います。
- * 日本呼吸療法医学会奨励論文賞の表彰を行います。
- * サプライズ企画満載です。お楽しみください。

11. 写真撮影・ビデオ録画・録音について

発表演題の写真撮影・ビデオ録画・録音は一切禁止いたします。

12. 報道関係者の方へのお願い

- ・会場内での無断での撮影・録音はお断りしております。
- ・取材のご希望は本部にて取材許可を得、取材時は自社腕章を着用してください。
- ・会長、各講演座長、スタッフなどの指示に従ってください。
- ・個別の発表内容については各社の責任において演者の承諾をあらかじめ得てください。
- ・講演中のフラッシュ撮影、シャッター音や移動など、講演の妨げとなる行為はご遠慮ください。

13. 各種会合のご案内

■将来計画委員会

日 時：2016年7月15日（金）12：00～12：30

会 場：ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋5F「ローズルーム」
（〒460-0023 名古屋市中区金山町一丁目1番1号 TEL：052-683-4111）

■社会保険委員会

日 時：2016年7月15日（金）12：30～13：30

会 場：ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋5F「くじゃく」
（〒460-0023 名古屋市中区金山町一丁目1番1号 TEL：052-683-4111）

■理事会

日 時：2016年7月15日（金）13：00～15：30

会 場：ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋5F「ローズルーム」
（〒460-0023 名古屋市中区金山町一丁目1番1号 TEL：052-683-4111）

■社員総会

日 時：2016年7月15日（金）15：30～18：00

会 場：ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋5F「ローズルーム」
（〒460-0023 名古屋市中区金山町一丁目1番1号 TEL：052-683-4111）

■人工呼吸管理安全対策委員会

日 時：2016年7月16日（土）10：00～10：50

会 場：名古屋国際会議場2号館2F「221-A」（予定）

■小児在宅人工呼吸検討委員会

日 時：2016年7月16日（土）14：30～15：30

会 場：名古屋国際会議場2号館2F「221-A」（予定）

■利益相反委員会

日 時：2016年7月16日（土）16：30～17：15

会 場：名古屋国際会議場2号館2F「221-A」（予定）

■チーム医療推進委員会

日 時：2016年7月16日（土）16：30～17：30

会 場：名古屋国際会議場2号館2F「221-B」（予定）

14. プログラムコンテンツ化・配信のご案内

プログラムの一部を収録、コンテンツ化し、会期終了後の一定期間、日本呼吸療法医学会の会員を対象に配信します。

<発表データ作成時のお願い>

●USBメモリによりご発表データをお持ち込みいただく場合：

- Windowsで作成したデータで、動画がない場合にのみ対応可能です。Macintoshで作成された場合、動画をご使用の場合は、必ずご自身のPCをご持参ください。
- 当日用意するPCはWindows 7です。
- アプリケーションはMicrosoft PowerPoint 2003/2007/2010/2013を搭載しています。
- 画面解像度はXGA（1024×768ドット）です。
- 文字化けや文字ずれを極力避けるため、フォントはOS標準のものをご使用ください。
例：Century、Century Gothic、Times New Roman、MS明朝、MSゴシックなど
- ファイル名は「セッション名_演題番号_演者名」としてください。
- お預かりしたご発表データは、学会終了後、責任をもって消去いたします。

●PCを持参される場合

- 利用機種、OS、アプリケーションに制限はありませんが、D-sub15ピンによるモニター出力が必要です。ご持参いただくPCからD-sub15ピンへの変換コネクタが必要な場合には各自でご用意ください。D-sub15ピン以外では接続できません。
- 動画がある場合、再生できることを必ずご確認ください。本体のモニターに動画が表示されても外部出力画面には表示されない場合がありますので、発表に使用するPCの外部出力にモニターを接続してご確認ください。また、別のPCで作成された動画は再生できない場合がありますのでご注意ください。
- 音声をご使用いただけます。
- スクリーンセーバー、ウイルスチェック、Wi-Fi、ならびに省電力設定はあらかじめ解除しておいてください。
- 電源ケーブルを必ずご持参ください。試写から実写までのスタンバイ期間もPCは立ち上げたまとなりますので、バッテリーでのご使用はトラブルの原因となります。
- 何らかのトラブルによりお持ちいただいたPCが作動しないことがあります。必ずバックアップデータをUSBメモリにてご持参ください。バックアップデータはWindows対応のものに限ります。
- PCの画面解像度はXGA（1024×768ドット）です。プロジェクターへの投影解像度はXGA（1024×768ドット）ですので、ワイド設定で作成されたデータは、上下に空白が生じて投影されます。解像度は下記の方法でご設定ください。
Windows XPの場合：デスクトップ画面でマウスを右クリック→プロパティ→設定→画面の解像度を1024×768に合わせる。
Windows 7/8/10の場合：デスクトップ画面でマウスを右クリック→画面の解像度を1024×768に合わせる。
- 終わりましたら、必ず各会場内の「映写卓」にてPCをお受け取りください。



2. ポスター発表

【座長の皆さまへ】

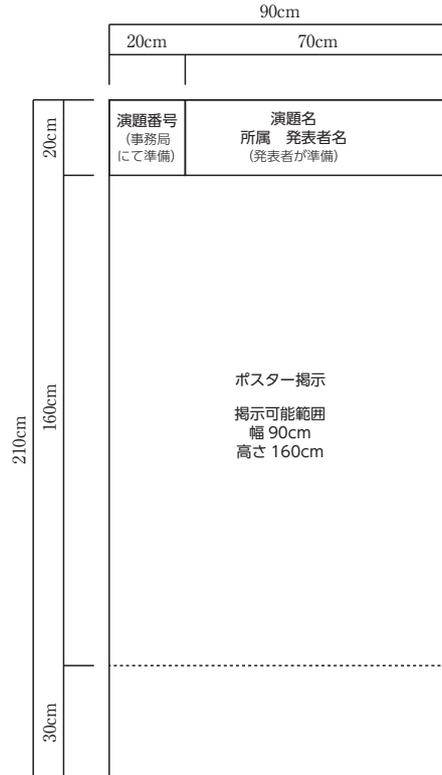
○セッション開始20分前までに各会場内「ポスター受付」にて座長リボンをお受け取りのうえ、セッション開始5分前までにポスターパネル前にて待機してください。

○各セッションの進行は座長に一任いたしますが、終了時刻を厳守いただくようご協力ください。

【演者の皆さまへ】

○患者個人情報に抵触する可能性のある内容は、患者あるいはその代理人から同意を得たうえで、患者個人情報が特定されないよう十分留意して発表してください。個人情報が特定される発表は禁止します。

○パネルサイズは下記をご参照ください。演題番号は事務局で用意いたします。



○下記にならない、COI状態を開示するためのポスターをご用意ください。

●申告すべきCOI状態が筆頭演者ならびに共同演者全員にない場合
(ポスターの一部にて開示)

●申告すべきCOI状態がある場合
(ポスターの一部にて開示)

<p>演 題： ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○</p> <p>所 属： ○○○○○○○○○○○○○○○</p> <p>氏 名： (筆頭演者ならびに共同演者全員の氏名を記載する)</p> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">演題発表に関連し、 発表者らの開示すべきCOIはありません。</p> <p style="text-align: right;"></p>

<p>演 題： ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○</p> <p>所 属： ○○○○○○○○○○○○○○○</p> <p>氏 名： (筆頭演者ならびに共同演者全員の氏名を記載する)</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">氏 名</th> <th style="width: 40%;">該当する項目</th> <th style="width: 30%;">企業名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">開示すべき内容がある項目のみ記載する</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;"></p>	氏 名	該当する項目	企業名	開示すべき内容がある項目のみ記載する					
氏 名	該当する項目	企業名							
開示すべき内容がある項目のみ記載する									



- 貼付・発表・撤去時間は下記のとおりです。掲示用のピンは事務局で用意いたします。
 - 貼付時間：7月16日（土）8：30～9：00／7月17日（日）8：30～9：00
 - 発表時間：7月16日（土）11：10～11：50／7月17日（日）9：40～10：30
 - 撤去時間：7月16日（土）17：30～18：00／7月17日（日）15：00～17：30
 - *撤去時間を過ぎても撤去されないポスターは事務局にて破棄いたします。
- セッション開始15分前までに各会場内「ポスター受付」にて演者リボンをお受け取りのうえ、セッション開始5分前までに自身のポスターパネル前にて待機してください。
- 時間厳守にご協力ください。持ち時間は7分（発表5分+質疑2分）です。

【委員長】

西田 修 藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座

【委員】

鮎川 勝彦 飯塚病院救命救急センター

飯田 有輝 厚生連海南病院リハビリテーション科

河合 佑亮 藤田保健衛生大学病院看護部ICU

志馬 伸朗 広島大学大学院医歯薬保健学研究院応用生命科学部門救急医学

田村 正徳 埼玉医科大学総合医療センター小児科学教室

蝶名林直彦 聖路加国際病院呼吸器センター

長谷川隆一 筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター総合病院／水戸協同病院救急・集中治療科

春田 良雄 公立陶生病院臨床工学部

藤野 裕士 大阪大学大学院医学系研究科生体統御医学講座麻酔・集中治療医学教室

森安 恵実 北里大学病院RST/RRT室

(五十音順)

お問い合わせ先**【事務局】**

藤田保健衛生大学医学部 麻酔・侵襲制御医学講座

〒470-1192 豊明市沓掛町田楽ヶ窪1-98

TEL : 0562-93-9008 / FAX : 0562-93-0080

【運営事務局】

株式会社クレッシェー

〒104-0051 東京都中央区佃1-11-6-1603 / TEL : 03-6231-0307 / E-mail : office@jsrcm38.jp

【本部】(会期中)

名古屋国際会議場4号館3F 434会議室

〒456-0036 名古屋市熱田区熱田西町1番1号 / 電話 : 052-683-7711 (代表)



プログラム

NAGOYA

学会特別企画講演～先達に学ぶ～ (SP)

9:15～9:55 第5会場 (1号館 4階 レセプションホール西)

病院の再建に取り組む、事業管理者の思いを伝える局長メッセージ

並木 昭義 (小樽市病院事業管理者・病院局長)

座長：西田 修 (藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)

招請講演1 (IL1) 

11:10～12:00 第1会場 (4号館 1階 白鳥ホール北)

Management of acute respiratory distress syndrome:
Prevention, plan, and prudenceYounsuck Koh (Department of Pulmonary and Critical Care Medicine,
Asan Medical Center, University of Ulsan College of
Medicine, Korea)

座長：西村 匡司 (徳島大学大学院救急集中治療医学)

招請講演2 (IL2) 

11:10～12:00 第2会場 (4号館 1階 白鳥ホール南)

Quality of life in the ICU and trajectories over time in critical care survivors

Peter E. Spronk (Department of Intensive Care Medicine, Gelre Hospitals
Apeldoorn / Department of Intensive Care Medicine,
Academic Medical Center, The Netherlands)

座長：橋本 悟 (京都府立医科大学附属病院集中治療部)

基調講演1 (KL1) 

9:00～9:30 第2会場 (4号館 1階 白鳥ホール南)

Lung protective ventilation and place of proportional modes

Laurent Brochard (Keenan Research Center, St Michael's Hospital /
Interdepartmental Division of Critical Care Medicine,
University of Toronto, Canada)

座長：川前 金幸 (山形大学医学部麻酔科学講座)

基調講演2 (KL2) 

15:30～16:20 第2会場 (4号館 1階 白鳥ホール南)

ICU-based rehabilitation: Understanding the latest evidence

Dale M. Needham (Johns Hopkins University School of Medicine, USA)

座長：尾崎 孝平 (神戸百年記念病院麻酔集中治療部)



教育講演1 (EL1)

11:10~12:00 第4会場 (1号館 4階 レセプションホール東)

ICU-acquired weakness と Post-Intensive Care Syndrome
病態生理と最新の知見

井上 茂亮 (東海大学医学部附属八王子病院救命救急医学)

座長: 布宮 伸 (自治医科大学医学部麻酔科学・集中治療医学講座
集中治療医学部門)

教育講演2 (EL2)

16:00~16:50 第3会場 (4号館 3階 432+431)

敗血症性血管内皮細胞障害と NETs

伊藤 隆史 (鹿児島大学病院救命救急センター・

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科システム血栓制御学)

座長: 升田 好樹 (札幌医科大学医学部集中治療医学)

エキスパートセミナー1 (AS1)

11:10~12:00 第3会場 (4号館 3階 432+431)

集中治療領域の呼吸器画像診断のポイント

一門 和哉 (済生会熊本病院呼吸器センター呼吸器内科)

座長: 磨田 裕 (埼玉医科大学国際医療センター集中治療科)

エキスパートセミナー2 (AS2)

15:05~15:55 第3会場 (4号館 3階 432+431)

EIT

吉田 健史 (トロント大学こども病院)

座長: 時岡 宏明 (岡山赤十字病院麻酔科)

エキスパートセミナー3 (AS3)

16:55~17:45 第3会場 (4号館 3階 432+431)

人工呼吸器グラフィック

古川 力丸 (弘仁会板倉病院)

座長: 山口 修 (横浜市立大学附属病院集中治療部)

よくわかるセミナー1 (BS1)

9:00~9:40 第6会場 (1号館 4階 141+142)

初心者でもわかる！血液浄化療法の基礎

原 嘉孝 (藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)

座長：鈴木 正之 (自治医科大学救急医学教室)

よくわかるセミナー2 (BS2)

9:45~10:25 第6会場 (1号館 4階 141+142)

実践に活かす！呼吸生理と血液ガス分析の見方

氏家 良人 (川崎医科大学救急総合診療医学講座)

座長：尾頭希代子 (昭和大学医学部麻酔科学講座)

よくわかるセミナー3 (BS3)

10:30~11:10 第6会場 (1号館 4階 141+142)

すっきり整理！人工呼吸器換気モードの基礎

大塚 将秀 (横浜市立大学附属市民総合医療センター集中治療部)

座長：明石 学 (名鉄病院麻酔科)

よくわかるセミナー4 (BS4)

11:15~11:55 第6会場 (1号館 4階 141+142)

プロトコルから学ぶ！人工呼吸器離脱

尾崎 孝平 (神戸百年記念病院麻酔集中治療部・手術部)

座長：榎田 浩史 (東京医科歯科大学大学院心肺統御麻酔学)

よくわかるセミナー5 (BS5)

13:20~14:00 第6会場 (1号館 4階 141+142)

やさしく理解しよう！ARDSと肺保護戦略

藤野 裕士 (大阪大学大学院医学系研究科生体統御医学講座
麻酔・集中治療医学教室)

座長：星 邦彦 (東北医科薬科大学麻酔科)



よくわかるセミナー6 (編集委員会企画) (BS6)

14:05~15:25 第6会場 (1号館 4階 141+142)

コメディカルのための呼吸療法論文作成テクニック：初級編

座長：中根 正樹 (山形大学医学部附属病院高度集中治療センター)
内山 昭則 (大阪大学医学部附属病院集中治療部)

- BS6-1 学会発表と論文執筆はここが違う！
中根 正樹 (山形大学医学部附属病院高度集中治療センター)
- BS6-2 まずはこれを読みましよう！「人工呼吸」投稿規定
中根 正樹 (山形大学医学部附属病院高度集中治療センター)
- BS6-3 基本的な論文形態と投稿支援システムの紹介
松本 幸枝 (榊原記念病院)
- BS6-4 後悔しないための研究計画の立て方と方法論
内山 昭則 (大阪大学医学部附属病院集中治療部)
- BS6-5 あなたの論文はこのように査読されている！
佐藤 大三 (順天堂大学病院)
- BS6-6 厳しい査読結果・・・あなたならどう直す？
長谷川隆一 (筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター・
総合病院水戸協同病院救急・集中治療科)

よくわかるセミナー7 (BS7)

15:30~16:10 第6会場 (1号館 4階 141+142)

これでうまくいく！NPPVの進め方

長谷川隆一 (筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター/
総合病院水戸協同病院救急・集中治療科)

座長：安本 和正 (社会医療法人愛宣会ひたち医療センター)

よくわかるセミナー8 (BS8)

16:15~16:55 第6会場 (1号館 4階 141+142)

初心者でもわかる！ECMOの基礎

中村 智之 (藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)

座長：田勢長一郎 (福島県立医科大学附属病院高度救命救急センター)

よくわかるセミナー9 (BS9)

17:00~17:40 第6会場 (1号館 4階 141+142)

今さら聞けない！呼吸のフィジカルアセスメント

新井 正康 (北里大学医学部附属新世紀医療開発センター・集中治療医学)

座長：卯野木 健 (筑波大学附属病院看護部)

ランチョンセミナー1 (LS1) 

12:20~13:10 第1会場 (4号館 1階 白鳥ホール北)

Optimizing sedation, analgesia and delirium in the ICU to improve patient outcomes

Dale M. Needham (Johns Hopkins University School of Medicine, USA)

座長：布宮 伸 (自治医科大学医学部麻酔科学・集中治療医学講座
集中治療医学部門)

共催：丸石製薬株式会社

ランチョンセミナー2 (LS2) 

12:20~13:10 第2会場 (4号館 1階 白鳥ホール南)

Patient-Ventilator interactions. Problems and solutions.

Laurent Brochard (Division Director, University of Toronto
Interdepartmental Division of Critical Care Medicine
Professor of Critical Care, University of Toronto, Canada)座長：山田 芳嗣 (東京大学大学院医学系研究科外科学専攻
生体管理医学講座麻酔学)

共催：コヴィディエン ジャパン株式会社

ランチョンセミナー3 (LS3)

12:20~13:10 第3会場 (4号館 3階 432+431)

間質性肺炎急性増悪に対するPMX療法

阿部 信二 (日本医科大学大学院医学研究科呼吸器内科学分野)

座長：竹田 晋浩 (かわぐち心臓呼吸器病院)

共催：東レ株式会社/東レ・メディカル株式会社

ランチョンセミナー4 (LS4)

12:20~13:10 第4会場 (1号館 4階 レセプションホール東)

急性呼吸不全における腎不全と血液浄化療法

土井 研人 (東京大学医学部附属病院救急部・集中治療部)

座長：氏家 良人 (川崎医科大学救急総合診療医学)

共催：旭化成メディカル株式会社



ランチョンセミナー5 (LS5)

12:20~13:10 第5会場 (1号館 4階 レセプションホール西)

ICUにおける食道内圧測定：有用性と展望

吉田 健史 (Physiology and Experimental Medicine, Department of
Critical Care Medicine, Hospital for Sick Children, University
of Toronto, Toronto, Canada)

座長：西田 修 (藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)

共催：アイ・エム・アイ株式会社

ランチョンセミナー6 (LS6)

12:20~13:10 第6会場 (1号館 4階 141+142)

Ernest Starling再考－血管透過性・心機能

宮尾 秀樹 (学校法人埼玉医科大学埼玉医科大学総合医療センター麻酔科)

座長：落合 亮一 (学校法人東邦大学東邦大学医療センター
大森病院麻酔科)

共催：株式会社大塚製薬工場

ランチョンセミナー7 (LS7)

12:20~13:10 第7会場 (1号館 3階 131+132)

小児在宅人工呼吸療法－普及に留意すべきこと－

渡部 晋一 (公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院)

座長：石川 悠加 (国立病院機構八雲病院小児科)

共催：フクダ電子株式会社／フクダライフテック株式会社

ランチョンセミナー8 (LS8)

12:20~13:10 第8会場 (1号館 3階 133+134)

緑膿菌肺炎に対するガンマグロブリンの効果

佐和 貞治 (京都府立医科大学麻酔科学教室)

座長：妙中 信之 (宝塚市立病院)

共催：一般社団法人日本血液製剤機構

シンポジウム1 (S1)

9:00~11:00 第1会場 (4号館 1階 白鳥ホール北)

新しいARDS診療ガイドライン

座長：橋本 悟 (京都府立医科大学附属病院集中治療部)

讃井 将満 (自治医科大学附属さいたま医療センター麻酔科集中治療部)

- S1-1 ARDS診療ガイドライン作成こぼれ話
讃井 将満 (自治医科大学附属さいたま医療センター麻酔科・集中治療部)
- S1-2 信頼できる診療ガイドライン作成のためのGRADEシステム
南郷 栄秀 (東京北医療センター総合診療科)
- S1-3 システマティック・レビューから診療ガイドラインを築き上げる
大下慎一郎 (広島大学大学院医歯薬保健学研究院救急集中治療医学)
- S1-4 GRADE systemにおける推奨を作成するためにシステマティック・レビューを行う。
江木 盛時 (神戸大学医学部附属病院麻酔科)

シンポジウム2 (S2)

9:00~11:00 第4会場 (1号館 4階 レセプションホール東)

VAE サーベイランス再考：真に遂行可能なのか？有益なのか？

座長：多治見公高 (独立行政法人労働者健康福祉機構秋田労災病院)

志馬 伸朗 (広島大学大学院医歯薬保健学研究院応用生命科学部門救急医学)

- S2-1 日本のICUにおけるVAEサーベイランスの現況
中橋 奨 (三重大学医学部附属病院救命救急センター)
- S2-2 サーベイランス概論
森兼 啓太 (山形大学医学部附属病院検査部・感染制御部)
- S2-3 VAEサーベイランスの問題と限界；現場から
伊藤 雄介 (兵庫県立こども病院小児感染症科)
- S2-4 VAEサーベイランスを本邦に導入前にすべきこと
林 淑朗 (医療法人鉄蕉会亀田総合病院集中治療科)
- S2-5 日本のVAEサーベイランス：国公立大学附属病院感染対策協議会のサーベイランス、
日本環境感染学会の動向について
渡邊都貴子 (岡山大学病院感染制御部)



シンポジウム3 (S3)

9:30~11:00 第2会場 (4号館 1階 白鳥ホール南)

Welcome to PLUG (Pleural Pressure Working Group) :

ICUで食道内圧を測定してみよう!

座長: 川前 金幸 (山形大学医学部麻酔科学講座)

竹内 宗之 (大阪府立母子保健総合医療センター集中治療科)

- S3-1 Esophageal pressure in the ICU
Laurent Brochard (Keenan Research Center, St Michael's Hospital /
Interdepartmental Division of Critical Care Medicine,
University of Toronto, Canada)
- S3-2 食道バルーンの臨床活用法 (経肺圧: PEEP と自発呼吸の観点から)
内山 昭則 (大阪大学医学部附属病院集中治療部)
- S3-3 食道バルーンの原理と使用方法
吉田 健史 (トロント大学こども病院)
- S3-4 食道バルーンを用いた人工呼吸器管理の実際: 症例提示
竹川 良介 (大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター)

シンポジウム4 (S4)

13:20~15:20 第1会場 (4号館 1階 白鳥ホール北)

肺と肺以外臓器との連関における集中治療

座長: 垣花 泰之 (鹿児島大学医学部救急・集中治療医学講座)

幸村 英文 (藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)

コメンテータ: Younsuck Koh (Department of Pulmonary and Critical Care
Medicine, Asan Medical Center, University
of Ulsan College of Medicine, Korea)

- S4-1 消化器系と肺の連関: 重症化のメカニズム
清水健太郎 (大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター)
- S4-2 肺傷害と輸液・体液管理
櫻谷 正明 (JA広島総合病院救急・集中治療科)
- S4-3 急性腎障害による肺炎症反応の誘導
土井 研人 (東京大学医学部救急部・集中治療部)
- S4-4 肺における Neutrophil extracellular traps の功罪
廣瀬 智也 (大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター・
大阪警察病院救命救急科)
- S4-5 Immunomodulating blood purification system (IMBPS) for excessive systemic
inflammation
中村 智之 (藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)
- S4-6 Biotrauma の観点から見た肺傷害と多臓器不全のメカニズム
若林 健二 (東京医科歯科大学医学部生体集中管理学)

協賛: ネスレ日本株式会社 ネスレヘルスサイエンスカンパニー

シンポジウム5 (S5)

13:20~15:20 第2会場 (4号館 1階 白鳥ホール南)

人工呼吸器離脱前後のケアのあり方

座長：讃井 将満 (自治医科大学附属さいたま医療センター麻酔科集中治療部)
田村富美子 (聖路加国際病院救命救急センター)

- S5-1 人工呼吸器離脱前後のケアの標準化—3学会合同プロトコルを通して
田村富美子 (聖路加国際病院救命救急センター)
- S5-2 人工呼吸器離脱に向けて看護師が主体的に行う痛み・不穏・せん妄管理
吹田奈津子 (日本赤十字社和歌山医療センター看護部)
- S5-3 High Flow Oxygen Therapy で抜管後呼吸不全を予防できるか?—NPPV との比較—
菊池 忠 (済生会熊本病院救急総合診療センター)
- S5-4 クリティカルケア領域における人工呼吸器離脱過程に関する研究—生命力の概念枠組みに基づく離脱困難患者への実践の分析—
橋内 伸介 (聖路加国際病院CCM/HCU)
- S5-5 看護師特定行為としての人工呼吸器離脱：ここを見て欲しい
飯塚 悠祐 (自治医科大学附属さいたま医療センター麻酔科集中治療部)

シンポジウム6 (S6)

13:20~15:20 第5会場 (1号館 4階 レセプションホール西)

在宅人工呼吸療法 (HMV) ~現場での挑戦と工夫~

座長：蝶名林直彦 (聖路加国際病院呼吸器センター)
石川 悠加 (国立病院機構八雲病院小児科)

- S6-1 HMV 適応判定における経皮CO₂モニターの精度と適応
富井 啓介 (神戸市立医療センター中央市民病院呼吸器内科)
- S6-2 外来機器モニタリング：看護専門外来におけるデータマネジメントツールの活用
竹川 幸恵 (地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター)
- S6-3 在宅での機器モニター：臨床工学技士による機器の定期check
春田 良雄 (公立陶生病院臨床工学部)
- S6-4 神経筋疾患における機械による咳介助 (Mechanical insufflation-exsufflation : MI-E) と理学療法
三浦 利彦 (独立行政法人国立病院機構八雲病院)
- S6-5 HMV 患者に対する効果的栄養療法
長尾 和宏 (医療法人社団裕和会長尾クリニック)

協賛：アボット ジャパン株式会社



シンポジウム7 (S7)

16:20~17:50 第2会場 (4号館 1階 白鳥ホール南)

早期リハビリテーションにおける多職種連携の課題と解決策 ～人工呼吸器患者の離床から～

座長：安藤 守秀 (大垣市民病院呼吸器内科)

濱本 実也 (公立陶生病院集中治療室)

コメンテータ：Dale M. Needham (Johns Hopkins University School of Medicine, USA)

- S7-1 多職種で喜びを積み重ねる～いかに成果を共有するか～
河合 佑亮 (藤田保健衛生大学病院看護部ICU)
- S7-2 標準ケアとしての早期リハビリテーションと多職種連携～理学療法士の立場から～
神谷健太郎 (北里大学病院リハビリテーション部)
- S7-3 前橋早期離床プロトコル～多職種で推進するICUでの早期離床～
劉 啓文 (前橋赤十字病院高度救命救急センター集中治療科救急科)
- S7-4 早期リハビリテーション研究会の活動から見えた多職種連携の課題
飯田 有輝 (海南病院リハビリテーション科)
- S7-5 早期リハビリテーションの文化はどのように創られるか？
尾崎 孝平 (神戸百年記念病院麻酔集中治療部・手術部)

パネルディスカッション1 (PD1)

10:00~12:00 第5会場 (1号館 4階 レセプションホール西)

近頃NPPVについて考えたいこと

座長：石原 英樹 (大阪府立呼吸器・アレルギー疾患センター呼吸器内科)

濱本 実也 (公立陶生病院集中治療室)

- PD1-1 急性呼吸不全におけるNPPV～ハイフローセラピーとの立ち位置は？～
横山 俊樹 (公立陶生病院呼吸器・アレルギー疾患内科)
- PD1-2 非侵襲的陽圧換気 (NPPV) 中の鎮静・鎮痛
古川 力丸 (弘仁会板倉病院)
- PD1-3 NPPVモードの使い分け (PCVは？)
石橋 一馬 (西神戸医療センター臨床工学室)
- PD1-4 急性期と在宅をつなぐNPPVケア
齋藤 修平 (大垣市民病院看護部)
- PD1-5 非侵襲的陽圧換気 (NPPV) マスクによる圧迫創傷対策指針策定に協力して
野口 裕幸 (CE野口企画)

パネルディスカッション2 (PD2)

13:20~15:20 第4会場 (1号館 4階 レセプションホール東)

どのようにしてRapid Response Systemを導入するか？

座長：安宅 一晃 (奈良県総合医療センター集中治療部)

森安 恵実 (北里大学病院集中治療センター RST・RRT室)

- PD2-1 看護師主導で行うRRTのメリットと今後の課題
本田 隆宏 (福島県立医科大学部附属病院看護部集中治療部)
- PD2-2 当院におけるMedical Emergency Team (MET)の導入と経緯、現状と問題点
早川 聖子 (藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)
- PD2-3 当院での急変時対応システム (rapid response system: RRS)の導入経過とその臨床効果
升田 好樹 (札幌医科大学医学部集中治療医学)
- PD2-4 Respiratory Support TeamをもとにしたRapid Response System導入の意義と効果
新井 正康 (北里大学医学部附属新世紀医療開発センター・集中治療医学)

ワークショップ1 (WS1)

9:00~11:00 第3会場 (4号館 3階 432+431)

小児在宅人工呼吸療法マニュアル案のブラッシュアップに向けて

座長：田村 正徳 (埼玉医科大学総合医療センター小児科学教室)

渡部 晋一 (倉敷中央病院小児科)

- WS1-1 小児在宅人工呼吸療法マニュアル作成の経緯
尾崎 孝平 (神戸百年記念病院麻酔集中治療部・手術部)
- WS1-2 小児在宅呼吸療法の現状と課題—成人との違いに注目して—
渡部 晋一 (公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院)
- WS1-3 在宅でのNPPVの実際
石川 悠加 (国立病院機構八雲病院小児科)
- WS1-4 在宅でのTPPVの実際 (適応・メリット・限界を含む)
寺澤 大祐 (岐阜県総合医療センター新生児内科)
- WS1-5 主たる個別の小児在宅人工呼吸器の機械的特徴と取り扱い注意点
松井 晃 (総合母子保健センター愛育病院臨床工学科)
- WS1-6 在宅での呼吸理学療法と排痰補助装置
木原 秀樹 (長野県立こども病院リハビリテーション科)
- WS1-7 停電・災害時対策 (自家発電、足踏み用吸引器など)
笠井 健 (北良株式会社)
- WS1-8 緊急特別発言：熊本震災で判明した課題
(特別発言) 緒方 健一 (おがた小児科内科医院)



ワークショップ2 (WS2)

15:30~17:30 第1会場 (4号館 1階 白鳥ホール北)

文献レビュー：急性呼吸不全管理－人工呼吸療法の周辺－

座長：藤野 裕士 (大阪大学大学院医学系研究科生体統御医学講座麻酔・集中治療医学教室)
市場 晋吾 (日本医科大学付属病院集中治療部)

WS2-1 急性呼吸不全の輸液管理

小竹 良文 (東邦大学医療センター大橋病院麻酔科)

WS2-2 人工呼吸器関連肺炎の予防策アップデート2016

志馬 伸朗 (広島大学大学院医歯薬保健学研究院応用生命科学部門救急集中治療医学)

WS2-3 High Flow Therapy の適応と今後

柴田 純平 (藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)

WS2-4 患者搬送と人工呼吸

中村 利秋 (長崎労災病院救急集中治療科)

WS2-5 成人呼吸ECMOの最新の動向

小倉 崇以 (前橋赤十字病院高度救命救急センター集中治療科・救急科)

Best Presentation Award 候補演題 (BPA)

13:20~15:00 第3会場 (4号館 3階 432+431)

※会員懇親会にて結果発表、表彰します。

座長／審査員長：落合 亮一 (東邦大学医療センター大森病院麻酔科)

審査員：妙中 信之 (宝塚市立病院)

竹田 晋浩 (かわぐち心臓呼吸器病院)

布宮 伸 (自治医科大学医学部麻酔科学・集中治療医学講座集中治療医学部門)

BPA-1 Awake ECMO：呼吸ECMOにおける予後改善効果と医療費削減の可能性

小倉 崇以 (前橋赤十字病院高度救命救急センター集中治療科・救急科)

BPA-2 V-V ECMOを使用した間質性肺炎急性増悪剖検肺における病理学的検討

木田 佳子 (広島大学大学院医歯薬保健学研究院救急集中治療医学)

BPA-3 Electrical impedance tomography (EIT) を用いた至適PEEP設定の試み－心臓血管外科術後症例における検討－

尾頭希代子 (昭和大学医学部麻酔科学講座)

BPA-4 周術期患者における術後排痰能力を判別する術前CPF水準

渡邊 陽介 (聖マリアンナ医科大学病院リハビリテーション部)

BPA-5 気管挿管が嚥下に及ぼす影響

林 真理 (社会医療法人製鉄記念八幡病院看護部)

BPA-6 早産児、新生児の経皮ヘモグロビン濃度 (SpHb) は貧血のスクリーニングに有用か？

梅原 直 (聖路加国際病院小児科)

BPA-7 敗血症ラットモデル坐骨神経毛細血管のglycocalyx脱落とダナパロイドの効果

日野 博文 (聖マリアンナ医科大学麻酔学教室)

BPA-8 気道モデル及び肺モデルを用いたHigh Flow nasal cannulaの流量の違いによるwash out effectの検討

小野寺 悠 (山形大学医学部救急医学講座・山形大学医学部麻酔科学講座)

- BPA-9 各開放型酸素マスクにおける吸入酸素濃度、二酸化炭素濃度の比較検討
石山 智之 (山形大学医学部附属病院臨床工学部)
- BPA-10 ヒト垂細葉4Dモデルによる換気・血流・拡散シミュレーション
北岡 裕子 (株式会社JSOLエンジニアリング事業部)

一般演題口演1 (O1)

9:00~9:45 第7会場 (1号館3階131+132)

ハイフロー療法1

座長：中沢 弘一 (宇都宮記念病院麻酔科)
豊崎 正人 (藤田保健衛生大学病院ME管理室)

- O1-1 急性大動脈解離の経過中に酸素化が悪化した患者に対し、HFT併用下で息止め予備吸気法を施行し、酸素化が改善した一例
山内 安奈 (静岡県立総合病院ICU/CCU)
- O1-2 モデル肺を用いた鼻カヌラ高流量酸素療法と非侵襲的陽圧換気法との比較検討
本庄 郁子 (大阪大学医学部附属病院集中治療部)
- O1-3 地域における呼吸不全を呈したdo not intubate (DNI) 高齢患者に対する高流量式鼻カニューラの有用性の検討
祖田 栄児 (地方独立行政法人西都児湯医療センター看護部)
- O1-4 NPPVを用いたHigh-flow nasal cannula代替システムの検討
高場 章宏 (神戸市立医療センター中央市民病院救命救急センター)
- O1-5 新型ネーザルハイフロー装置Steadyair Systemの使用評価
梶原 吉春 (東大和病院)

一般演題口演2 (O2)

9:00~9:45 第8会場 (1号館3階133+134)

ECMO1

座長：中野 実 (前橋赤十字病院高度救命救急センター)
鈴木 健一 (日本医科大学付属病院ME部)

- O2-1 ECMOシミュレーションラボアドバンスドコースを開催して
中村 智之 (藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)
- O2-2 ECMO Training Course at Karolinska研修報告と当院におけるECMO simulation training
萩原 祥弘 (東京都立多摩総合医療センター救命救急センター)
- O2-3 当院におけるRespiratory ECMOの経験
横山 俊樹 (公立陶生病院呼吸器・アレルギー疾患内科)
- O2-4 重症呼吸不全に対するVV-ECMOの有効性の検討
徳田賢太郎 (九州大学病院集中治療部)
- O2-5 Harlequin syndromeに対しVAV ECMOの流量比率を調節して対処した一例
荒川 裕貴 (東京都立多摩総合医療センター救命救急センター)



一般演題口演3 (03)

9:45~10:39 第7会場 (1号館 3階 131+132)

ハイフロー療法2

座長：坪井 知正 (NHO 南京都病院呼吸器科)

幸村 英文 (藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)

- 03-1 重症2型呼吸不全患者に対するネーザルハイフロー (NHF) の有用性について
小室 圭子 (草加市立病院看護部)
- 03-2 2型呼吸不全患者に対する High Flow Oxygen Therapy (HFOT) の使用経験
木村 博人 (地方独立行政法人西都児湯医療センター看護部)
- 03-3 筋ジストロフィー患者に対してハイフローセラピーを用いた1症例
鈴木 隆介 (浜松医療センター臨床工学科)
- 03-4 小児心臓外科術後における High-flow nasal cannula (HFNC) の有用性
出井 真史 (横浜市立大学附属病院集中治療部)
- 03-5 重症管理病棟 (HCU) におけるネーザルハイフロー使用症例の検討
中島 研 (平成紫川会小倉記念病院救急部)
- 03-6 当院ICUでのネーザルハイフローシステムを用いた High Flow Oxygen Therapy の
臨床調査
山本 俊介 (札幌医科大学附属病院集中治療部・
大分大学医学部麻酔科学講座附属病院集中治療部)

一般演題口演4 (04)

9:45~10:30 第8会場 (1号館 3階 133+134)

痛み・不穏・せん妄管理

座長：西 信一 (兵庫医科大学集中治療医学科)

茂呂 悦子 (自治医科大学附属病院集中治療部)

- 04-1 急性呼吸不全にて人工呼吸管理中の小児の鎮静深度
小泉 沢 (宮城県立こども病院集中治療科)
- 04-2 A病棟の鎮痛・鎮静に対する看護師の認識～アンケート調査による3セクションの比較から～
福澤 知子 (聖マリアンナ医科大学病院RST)
- 04-3 人工呼吸管理下の患者の鎮静・鎮痛における Behavioral Pain Scale 使用の意義
木原 智行 (地方独立行政法人下関市立市民病院集中治療部)
- 04-4 過剰な鎮静薬使用量低減と早期離床による人工呼吸期間およびICU在室期間短縮への効果
山本 司 (藤田保健衛生大学病院看護部ICU)
- 04-5 ASV装着患者におけるせん妄発症の実態調査
岸澤由紀子 (市立砺波総合病院看護部)

一般演題口演5 (05)

10:30~11:15 第8会場 (1号館 3階 133+134)

呼吸理学療法・リハビリテーション1

座長：中川 隆 (愛知医科大学災害医療研究センター)
里井 陽介 (地方独立行政法人那覇市立病院集中治療室)

- O5-1 人工呼吸器患者の入院時疾患重症度は離床非達成の予測指標となるか？
関川 清一 (広島大学大学院医歯薬保健学研究院生体機能解析制御科学)
- O5-2 抜管高リスク症例に対する咳嗽力および呼吸筋力測定の試み
平澤 純 (公立陶生病院中央リハビリテーション部)
- O5-3 抜管前呼吸機能検査は抜管後の再挿管を予測できるか
高木沙央里 (藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)
- O5-4 胸帯の装着が呼吸機能に与える影響～医療スタッフにスパイロメータを用いて～
友部 透 (埼玉医科大学国際医療センター看護部)
- O5-5 間質性肺炎患者における呼吸同調器の有無が運動負荷の結果に及ぼす影響
高濱 みほ (独立行政法人国立病院機構呉医療センター中国がんセンターリハビリテーション科)

一般演題口演6 (06)

10:39~11:15 第7会場 (1号館 3階 131+132)

加温加湿

座長：桑迫 勇登 (昭和大学藤が丘病院麻酔科)
石井 宣大 (東京慈恵会医科大学葛飾医療センター臨床工学部)

- O6-1 加温加湿器の連続故障に対する原因と安全対策
鈴木 茂樹 (亀田総合病院ME室)
- O6-2 ホースヒーターの熱により吸気側回路が融解し、リークを生じた乳児の一例
堺 結有 (横浜市立大学附属病院集中治療部)
- O6-3 Fisher& Paykel 社製AIRVO2の酸素濃度、加湿能の測定
伊藤 朋晃 (小倉記念病院検査技師部工学課)
- O6-4 水分損失モデル用いた気管切開患者用人工鼻の性能比較
佐藤 暢一 (東邦大学医療センター大森病院麻酔科)

一般演題口演7 (07)

11:15~11:51 第7会場 (1号館 3階 131+132)

小児の在宅人工呼吸管理

座長：渡部 晋一 (倉敷中央病院小児科)
松井 晃 (総合母子保健センター愛育病院臨床工学科)

- O7-1 院内使用の人工呼吸器回路 (EVAQA2) をHMVで使用した経験
上岡 将之 (JA茨城県厚生連総合病院土浦協同病院臨床工学部)



- 07-2 在宅の神経筋疾患におけるマウスピースを用いた覚醒時のNPPV延長
高田 学 (国立病院機構八雲病院看護部)
- 07-3 ポータブル人工呼吸器における従量式送気特性の検討
阿部 聖司 (国立病院機構西別府病院医療機器管理室)
- 07-4 在宅TPPV導入を拒否された小児患者の在宅NPPV管理
深海矢真斗 (医療法人豊田会刈谷豊田総合病院診療技術部臨床工学科)

一般演題口演8 (08)

11:15~12:00 第8会場 (1号館 3階 133+134)

呼吸理学療法・リハビリテーション2

座長：池崎 弘之 (かわぐち心臓呼吸器病院麻酔科)

安藤 幸吉 (仙台市立病院救命救急部・集中治療科・麻酔科)

- 08-1 当院救命救急センターICUにおける人工呼吸患者の歩行 ～挿管患者の歩行は安全か?～
新山 和也 (埼玉医科大学国際医療センター救命救急センターICU)
- 08-2 当院におけるICUでのリハビリスタッフを専任配置した効果について
水谷 元樹 (一宮西病院リハビリテーション科)
- 08-3 当院で5年間に経験したICU acquired weakness syndromeの5症例
池宗 啓蔵 (愛媛大学医学部附属病院集中治療部)
- 08-4 急性期一般病棟における気管挿管患者の離床実施率とプロトコル整備状況
曷川 元 (一般社団法人日本離床研究会)
- 08-5 療養病床を有する一般病院にてリハビリテーションを実施した肺炎患者の臨床的特徴
朝井 政治 (大分大学福祉健康科学部)

一般演題口演9 (09)

13:20~14:14 第7会場 (1号館 3階 131+132)

NPPV

座長：相澤 純 (岩手医科大学医学部医学教育学講座・麻酔学講座)

櫻本 秀明 (筑波大学附属病院集中治療室)

- 09-1 呼吸サポートチーム主導による院内教育システム構築に向けた取り組み～NPPVマスクフィッティング学習会後の現場の変化～
石田恵充佳 (武蔵野赤十字病院)
- 09-2 HCU病棟における2013年～2014年のNPPV使用患者の実態
原田 有未 (社会福祉法人三井記念病院HCU病棟)
- 09-3 心臓血管外科手術抜管後の非侵襲的人工呼吸療法が及ぼす病態と影響
萩森 康孝 (松山市民病院リハビリテーション科)
- 09-4 de novo Acute Respiratory Failure症例に対するNPPVにおける1回換気量と治療失敗
古賀 靖卓 (山口大学医学部附属病院先進救急医療センター)

- O9-5 NPPV施行中の鼻カニューラによる呼気炭酸ガスのモニタリングの検討
道越 淳一 (小倉記念病院検査技師部工学課・大分大学大学院医学系研究科)
- O9-6 適応補助換気装置の低換気に対する応答性について
森田 真 (小倉記念病院検査技師部工学課)

一般演題口演 10 (O10)

13:20~14:05 第8会場 (1号館 3階 133+134)

呼吸理学療法・リハビリテーション3

座長：島田 二郎 (福島県立医科大学救急医療学講座)
南條 裕子 (東京大学医学部附属病院看護部)

- O10-1 VV-ECMO管理中に安全にリハビリテーションを行えた1例
大村 和也 (済生会横浜市東部病院集中治療科)
- O10-2 二度のECMO管理を含む集学的治療によりADLの回復を得た重症肺炎の一例
沼野上由紀 ((株)日立製作所日立総合病院リハビリテーション科)
- O10-3 急性肺血栓栓症術後にICU獲得性筋力低下を合併した1例—筋エコー図所見を含む身体機能回復の推移—
森本 陽介 (長崎大学病院リハビリテーション部)
- O10-4 安定期COPD症例に対するRTXの呼吸理学療法的な急性効果の検討
加藤 聡之 (刈谷豊田総合病院呼吸器・アレルギー内科)
- O10-5 当院ICUにおける緊急入室症例のリハビリテーション実施時の有害事象
小野田康孝 (藤田保健衛生大学病院リハビリテーション部)

一般演題口演 11 (O11)

14:05~14:50 第8会場 (1号館 3階 133+134)

気道管理1

座長：山蔭 道明 (札幌医科大学医学部麻酔科学講座)
大家 宗彦 (近畿大学奈良病院救命センター)

- O11-1 当院における経皮的拡張型気管切開318例の検討
本間 舞子 (札幌医科大学医学部集中治療医学)
- O11-2 経皮的気管切開術後早期のカニューレ交換は要注意！
宮脇 宏 (小倉記念病院麻酔科・集中治療部)
- O11-3 頸髄損傷において気管切開の必要性を予測する因子についての検討
林 元久 (大阪府立急性期総合医療センター救急診療科)
- O11-4 抜管後に、上気道閉塞症状にて再挿管となった2例の検討
亀山 良亘 (東北大学病院集中治療部)
- O11-5 ICUで再挿管が必要となり、ステロイド投与で症状が改善したため抜管し得た喉頭浮腫の1例
横本 祐希 (愛媛大学医学部附属病院臨床研修センター)



一般演題口演 12 (O12)

14:14~15:08 第7会場 (1号館 3階 131+132)

VAE・排痰補助・感染

座長：山内 順子 (社会医療法人弘道会萱島生野病院麻酔科)
林 淑朗 (医療法人鉄蕉会亀田総合病院集中治療科)

- O12-1 人工呼吸器関連肺炎予防におけるカフ上部分泌物たれ込み防止ケアバンドル：続報
高橋 香織 (自治医科大学附属さいたま医療センター集中治療部)
- O12-2 人工呼吸器関連肺炎予防に向けたポジショニングの検討－気道管理トレーナモデルを用いた唾液垂れこみの実態－
山田 亨 (東邦大学医療センター大森病院救命救急センター)
- O12-3 mechanical insufflation-exsufflation (MI-E) の使用経験
大場 一英 (東北大学病院集中治療部)
- O12-4 脳低温療法における器械的排痰補助 (MI-E) の有用性
横山 仁志 (聖マリアンナ医科大学病院リハビリテーション部)
- O12-5 新設された中央手術部集中治療室における MRSA 新規検出率調査
石井 賢造 (福山市民病院麻酔科・がんペインクリニック集中治療室)
- O12-6 LAMP 法で診断し得たレジオネラ肺炎の4症例
白坂 渉 (岸和田徳洲会病院救命救急センター)

一般演題口演 13 (O13)

14:50~15:35 第8会場 (1号館 3階 133+134)

医療安全 1

座長：大村 昭人 (帝京大学医学部附属溝口病院麻酔科)
山本 信章 (順天堂大学医学部附属浦安病院臨床工学室)

- O13-1 当院における人工呼吸器回路外れのインシデントに関する検討
大野 美香 (独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター呼吸ケアサポートチーム (RST))
- O13-2 当院における人工呼吸器のインシデント分析
渡邊 正太 (東京女子医科大学八千代医療センター臨床工学室)
- O13-3 当院ICUにおける気管チューブの計画外抜管の原因調査
濱元 盛将 (地方独立行政法人那覇市立病院集中治療室)
- O13-4 当院ICUにおける ECMO 院内搬送の安全性の検討
島田 朋和 (札幌医科大学附属病院臨床工学部)
- O13-5 呼吸器疾患患者の安全管理～医療安全部門と RST とのチーム医療の実践～
大方 葉子 (公益社団法人勤医協中央病院)

一般演題口演 14 (O14)

15:08~15:53 第7会場 (1号館 3階 131+132)

教育1

座長：渡海 裕文 (兵庫県立淡路医療センター麻酔科)
大江 理英 (大阪警察病院看護部)

- O14-1 教育用人工呼吸器技術トレーニングシステムを用いた基本技術習熟度評価法の構築と教育効果の検証
池田 萌望 (広島工業大学生命学部生体医工学科)
- O14-2 呼吸器関連 看護師特定行為研修を終えて
遠藤 沙希 (自治医科大学附属さいたま医療センター集中治療部)
- O14-3 院内専門領域研修「呼吸ケア」の3年間の実施報告～病棟看護師の臨床実践能力の向上のために～
阿部 陽子 (新潟大学医歯学総合病院看護部)
- O14-4 新設ICU看護師が大学病院研修で学んだ呼吸理学療法的重要性
片岡 礼子 (公立西知多総合病院集中治療部)
- O14-5 救急病棟呼吸ケアチーム活動による新卒看護師のリアリティショック軽減への効果
小山 明里 (北里大学病院救命救急・災害医療センター救急病棟)

一般演題口演 15 (O15)

15:35~16:29 第8会場 (1号館 3階 133+134)

医療安全2

座長：鮎川 勝彦 (飯塚病院)
山崎 早苗 (東海大学医学部付属病院集中治療室)

- O15-1 人工呼吸器回路交換時期における添付文書記載内容の考察
峰澤 里志 (岡崎市民病院医療技術局臨床工学室)
- O15-2 人工呼吸器排気口専用CO₂モニタIAS-V110は医療安全の向上に寄与できるか?
陶山 真一 (旭川赤十字病院医療技術部第一臨床工学課)
- O15-3 呼吸管理における酸素使用量に対する安全管理体制の拡充
勝俣 萌 (社会医療法人財団大和会東大和病院臨床工学科)
- O15-4 呼吸管理が必要な重症心身障害児の在宅に向けて - 事故抜管防止に向けた取り組み -
浅田 尚子 (北播磨総合医療センター看護部4階西病棟)
- O15-5 ドクターヘリに搭載した人工呼吸器が奏功した重症心不全の一例
竹中 隆一 (大分大学医学部附属病院高度救命救急センター)
- O15-6 当院における Medical Emergency Team (MET) の現状と課題
大槻 藍 (藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)



一般演題口演 16 (O16)

15:53~16:38 第7会場 (1号館 3階 131+132)

教育2

座長：高橋 伸二（筑波大学大学院医学医療系手術部・麻酔科）
山崎 富善（藤田保健衛生大学病院看護部ICU・HCU病棟）

- O16-1 教育用人工呼吸器技術トレーニングシステムのための仮想患者及び人工呼吸器モデルの構築
城戸孝士郎（広島工業大学生命学部生体医工学科）
- O16-2 映像によるデブリーフィングを用いた人工呼吸器学習会の有効性
畔柳 信吾（公立西知多総合病院臨床工学科）
- O16-3 術後酸素療法の適正使用を目指して
水流 洋平（昭和大学病院ICU）
- O16-4 研修プログラムの作成と実施～セラピストの気管吸引実践にむけて～
堤 健一（医療法人親仁会米の山病院）
- O16-5 呼吸介助手技時の上肢筋活動について－技術講習会受講者と未受講者の違い－
森本 雄司（大阪市立総合医療センター医療技術部リハビリテーション部）

一般演題口演 17 (O17)

16:38~17:23 第7会場 (1号館 3階 131+132)

ウイニング

座長：小野寺睦雄（徳島大学病院救急集中治療部）
松本 幸枝（榊原記念病院看護管理室）

- O17-1 自動ウイニングモード－Smart Care/PSとIntellivent-ASVの比較検討
本間 舞子（札幌医科大学医学部集中治療医学）
- O17-2 当院における人工呼吸器離脱へ向けたケアプロセスの検討
杉原 聖子（新潟県立新発田病院看護部救命救急センター）
- O17-3 SBT評価支援システムの構築
八反丸善裕（東京大学医学部附属病院医療機器管理部）
- O17-4 Post-ICU施設におけるスピーチエイド®導入の成功に関わる因子の臨床的検討
山田 修平（特定医療法人平成会病院）
- O17-5 Post-ICU長期人工呼吸12年間の診療成績
橋本 聡一（特定医療法人平成会平成会病院）



一般演題ポスター1 (P1)

11:10~11:45 ポスター会場1 (4号館 3階 436)

人工呼吸器他

座長：笹野 寛 (名古屋市立大学病院救急科)

- P1-1 呼吸器回路支持アームにおける工夫の試み
外口 敬作 (済生会熊本病院臨床工学部門)
- P1-2 当院集中治療センターにおける人工呼吸器装着患者の現状把握-傾向と課題-
村谷 俊幸 (金沢医科大学病院医療技術部心身機能回復技術部門リハビリテーションチーム)
- P1-3 ブロア式人工呼吸器の酸素使用量とFiO₂の関連について 第二報 アストラルについて
山本 真 (大分協和病院内科)
- P1-4 MRI対応人工呼吸器HAMILTON-MR1™の使用経験
宮庄 浩司 (福山市民病院救命救急センター)
- P1-5 Adaptive Ventilation Mode (AVM) が搭載された人工呼吸器の紹介
上嶋 浩順 (昭和大学病院医学部麻酔科)

一般演題ポスター2 (P2)

11:10~11:52 ポスター会場1 (4号館 3階 436)

ハイフロー療法

座長：坪内 宏樹 (一宮西病院麻酔科・集中治療部)

- P2-1 手術後の肥満患者に対するネーザルハイフロー使用についての検討
古橋 成哲 (磐田市立総合病院臨床工学科)
- P2-2 心臓血管術後症例におけるハイフローセラピーシステムの離脱要因に関する検討
坂本 祐希 (埼玉医科大学国際医療センター MEサービス部)
- P2-3 当院におけるネーザルハイフローの使用経験
高橋 正彦 (井上病院呼吸器外科)
- P2-4 気管切開接続用アダプタをもちいたHigh flow therapyの有用性
松元 崇史 (雪の聖母会聖マリア病院呼吸器内科)
- P2-5 急性期にネーザルハイフローを使用し挿管を回避できた一例
梶野 公亨 (那須赤十字病院臨床工学技術課)
- P2-6 NPPV装着後、NHFを用い回復に至った1症例を経験して
河村 葉子 (河北総合病院看護部HCU)



一般演題ポスター3 (P3)

11:10~11:45 ポスター会場2 (4号館 3階 437)

RST1

座長: 天谷 文昌 (京都府立医科大学麻酔科学)

- P3-1 当院RSTの介入による効果 APRVモードを使用したARDS症例
中村 紀子 (彦根市立病院看護部)
- P3-2 呼吸サポートチームによる早期離床の取り組みの現状と課題
永田 英貴 (名古屋第二赤十字病院リハビリテーション科)
- P3-3 当院における腹臥位療法導入への取り組み
西澤 一馬 (彦根市立病院リハビリテーション科)
- P3-4 人工呼吸器装着患者に対する早期リハビリテーション定着への取り組み
角田 朋美 (医療法人徳洲会東京西徳洲会病院HCU病棟)
- P3-5 レジオネラ肺炎後に間質性肺炎を発症し長期人工呼吸管理を経て独歩退院した1例
西尾 陽子 (総合大雄会病院呼吸ケアサポートチーム)

一般演題ポスター4 (P4)

11:10~11:45 ポスター会場2 (4号館 3階 437)

成人の在宅呼吸管理1

座長: 長野 修 (高知大学医学部災害・救急医療学講座)

- P4-1 パッシブ回路使用時の在宅用加温加湿器PMH1000とMR810の検討
高尾 理紗 (兵庫医科大学病院臨床工学室)
- P4-2 当院臨床工学部における在宅人工呼吸療法への取り組み
神谷 敏之 (医療法人沖縄徳洲会南部徳洲会病院臨床工学部)
- P4-3 在宅人工呼吸器管理における当院の臨床工学技士の活動について
佐々木 誠 (国立病院機構岩手病院臨床工学室)
- P4-4 延髄空洞症による2年間の人工呼吸入院から在宅人工呼吸に移行した一例
高橋 進 (岩手済生医会中津川病院内科)
- P4-5 長期NIV患者において自発呼吸時のPaO₂が患者の睡眠の質やHRQOLに及ぼす影響
坪井 知正 (国立病院機構南京都病院呼吸器科)
- P4-6 LTOT患者において自発呼吸時のPaO₂が患者の睡眠の質やHRQOLに及ぼす影響
坪井 知正 (国立病院機構南京都病院呼吸器科)

一般演題ポスター5 (P5)

11:10~11:38 ポスター会場3 (4号館 3階 431)

ECMO 症例

座長：青景 聡之 (かわぐち心臓呼吸器病院循環器科・集中治療科)

- P5-1 ECMO 治療中に人工呼吸器の換気量が得られないため、人工呼吸器を機種変更した症例
柏原 謙 (京都桂病院臨床工学科)
- P5-2 皮膚筋炎に伴う間質性肺炎に縦隔気腫を合併し、ECMO を要した一例
松田 優子 (横浜市立大学附属病院麻酔科)
- P5-3 カンジダ血症に続発した ARDS に対して ECMO が有効であった 1 例
後藤 孝治 (大分大学医学部附属病院集中治療部)
- P5-4 食道癌縦隔リンパ節転移による左主気管支閉塞で急激な呼吸不全を呈し、ECMO にて救命した一例
速井 俊策 (公立陶生病院呼吸器アレルギー疾患内科)

一般演題ポスター6 (P6)

11:10~11:38 ポスター会場3 (4号館 3階 431)

研究・開発

座長：海塚 安郎 (社会医療法人製鉄記念八幡病院救急・集中治療部)

- P6-1 重症呼吸不全患者には 5L 以上の積算水分出納がある！
財津 昭憲 (社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院集中治療科)
- P6-2 成人心臓手術における切開方法による術前後の呼吸機能の変化の相違 - 胸骨正中切開 VS 胸骨部分切開 VS 小切開側開胸 -
小栗 隆良 (医療法人名古屋澄心会名古屋ハートセンター臨床工学科)
- P6-3 当院における食道内圧測定の取り組み
宇佐見 直 (東京ベイ・浦安市川医療センター臨床工学室)
- P6-4 Volumetric Capnography (換気量対二酸化炭素濃度分析) の理論的研究
塚越 昌一 (泉工医科工業株式会社開発部)
- P6-5 国産小型 nasal CPAP 装置 (JPAP) の開発にこめた考え
宮坂 勝之 (聖路加国際大学大学院周麻酔期看護学)



経肺圧セミナー

13:30~16:30 第9会場 (2号館 3階 231)

インストラクター:

- 則末 泰博 (東京ベイ・浦安市川医療センター救急・集中治療科集中治療部門)
- 内藤 貴基 (東京ベイ・浦安市川医療センター救急・集中治療科集中治療部門)
- 片岡 惇 (東京ベイ・浦安市川医療センター救急・集中治療科集中治療部門)
- 岡本賢太郎 (東京ベイ・浦安市川医療センター救急・集中治療科集中治療部門)
- 宇佐見 直 (東京ベイ・浦安市川医療センター救急・集中治療科集中治療部門)
- 竹内 宗之 (大阪府立母子保健総合医療センター)
- 石川 惇哉 (横浜市民病院)

協力: アイ・エム・アイ株式会社

肺エコーハンズオンセミナー Focused Lung Ultrasound / B of ABCD sonography

13:30~17:30 第11会場 (2号館 2階 222+223)

コースディレクター:

鈴木 昭広 (東京慈恵会医科大学麻酔科学講座)

チーフインストラクター:

野村 岳志 (横浜市立大学病院医学研究科麻酔科学)

インストラクター:

- 宮崎 裕也 (川口総合病院救急総合内科)
- 高木 俊介 (横浜市立大学医学部生体制御・麻酔科)
- 二階 哲郎 (島根大学医学部附属病院集中治療部)
- 玉城 正弘 (豊見城中央病院集中治療室)
- 大屋 聖郎 (横浜労災病院救命救急センター)

アシスタント:

- 岡本 洋史 (聖路加国際大学臨床疫学センター)
- 光本 保英 (大阪府済生会吹田病院消化器内科)

特別招請講演 (SIL)

13:00~14:00 第1会場 (4号館 1階 白鳥ホール北)
(中継) 第2会場 (4号館 1階 白鳥ホール南)

呼吸は心身をつなぐ～息の人間学

齋藤 孝 (明治大学文学部)

座長：西田 修 (藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)

特別講演1 (医工連携プログラム) (SL1)

10:50~11:40 第3会場 (4号館 3階 432+431)

可搬型・小型血液浄化システムの臨床応用への挑戦 (第2報)

松田 兼一 (山梨大学医学部救急集中治療医学講座)

座長：林 久美子 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科救急医学分野)

特別講演2 (SL2)

10:50~11:40 第5会場 (1号館 4階 レセプションホール西)

急性期呼吸不全の管理と倫理的側面

氏家 良人 (川崎医科大学救急総合診療医学講座)

座長：川前 金幸 (山形大学医学部麻酔科学講座)

会長講演 (PL)

8:40~9:30 第1会場 (4号館 1階 白鳥ホール北)

私と急性期呼吸管理—これまでのこと、これからのこと—

西田 修 (藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)

座長：岡元 和文 (丸子中央病院救急科・総合診療科)

招請講演3 (IL3) 

10:50~11:40 第2会場 (4号館 1階 白鳥ホール南)

Impact of critical illness on long-term outcomes

Hannah Wunsch (Department of Critical Care Medicine, Sunnybrook
Hospital / Department of Anesthesia, University of
Toronto, Canada)

座長：大嶽 浩司 (昭和大学医学部麻酔科学講座)



招請講演4 (IL4)

14:10~15:00 第1会場 (4号館 1階 白鳥ホール北)

Can CO₂ protect in critical care?

Brian P. Kavanagh (Hospital for Sick Children, University of Toronto,
Canada)

座長：落合 亮一 (東邦大学医療センター大森病院麻酔科)

協賛：フクダ電子株式会社

招請講演5 (IL5)

14:10~15:00 第2会場 (4号館 1階 白鳥ホール南)

Change management process of implementing automated ventilation

Marco Maggiorini (Medical Intensive Care Unit, University Hospital
Zürich, Switzerland)

座長：小谷 透 (昭和大学医学部麻酔科学講座)

教育講演3 (EL3)

13:00~13:50 第4会場 (1号館 4階 レセプションホール東)

ARDS：肺血管外水分量と治療戦略

田上 隆 (日本医科大学多摩永山病院救命救急センター)

座長：山田 芳嗣 (東京大学大学院医学系研究科外科学専攻生体管理医学講座麻酔学分野)

特別発言：震災緊急報告 (SR)

13:00~13:50 第6会場 (1号館 4階 141+142)

熊本阿蘇地震、小児在宅人工呼吸患者家族と担当スタッフはそのときどう対応したか？
現実と問題点

緒方 健一 (おがた小児科内科医院/特定短期入所施設かぼちゃんクラブ/
訪問呼吸リハビリパンキン)

座長：笠井 健 (小児在宅人工呼吸検討委員会・北良株式会社)

エキスパートセミナー4 (AS4)

9:10~10:40 第4会場 (1号館 4階 レセプションホール東)

医療統計セミナー (初級編)

新谷 歩 (大阪大学大学院医学系研究科臨床統計疫学寄附講座)

座長：江木 盛時 (神戸大学医学部附属病院麻酔科)



エキスパートセミナー5 (AS5)

10:50~11:40 第4会場 (1号館 4階 レセプションホール東)

肺エコー

鈴木 昭広 (東京慈恵会医科大学麻酔科学講座)

座長：野村 岳志 (横浜市立大学大学院医学研究科麻酔科学)

エキスパートセミナー6 (AS6)

14:10~15:40 第4会場 (1号館 4階 レセプションホール東)

医療統計セミナー (中級編)

新谷 歩 (大阪大学大学院医学系研究科臨床統計疫学寄附講座)

座長：原 嘉孝 (藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)

エキスパートセミナー7 (AS7)

15:50~16:40 第4会場 (1号館 4階 レセプションホール東)

人工呼吸患者の栄養療法

巽 博臣 (札幌医科大学医学部集中治療医学)

座長：小谷 穰治 (兵庫医科大学救急・災害医学講座)

よくわかるセミナー10 (BS10)

8:40~9:20 第6会場 (1号館 4階 141+142)

事例から学ぶ！人工呼吸管理中の事故対策

齋藤 浩二 (東北大学病院集中治療部)

座長：水谷 太郎 (筑西市医療監)

よくわかるセミナー11 (BS11)

9:25~10:05 第6会場 (1号館 4階 141+142)

実践につなげる！HFNC (High-flow nasal cannula) の使い方

小松 聖史 (藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)

座長：服部 友紀 (名古屋市立大学大学院医学研究科・医学部
先進急性期医療学)



よくわかるセミナー12 (BS12)

10:10~10:50 第6会場 (1号館 4階 141+142)

これで安心！安全で効果的な口腔ケア

松尾浩一郎 (藤田保健衛生大学医学部歯科)

座長：柳下 芳寛 (医療法人相生会にしくまもと病院)

よくわかるセミナー13 (BS13)

10:55~11:35 第6会場 (1号館 4階 141+142)

あなたならどうする？ 早期離床の攻めと守りの根拠

神津 玲 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科内部障害リハビリテーション学/長崎大学病院リハビリテーション部)

座長：行岡 秀和 (大阪行岡医療大学医療学部理学療法学科
救急医学講座)

よくわかるセミナー14 (BS14)

14:10~14:50 第6会場 (1号館 4階 141+142)

急性期呼吸リハビリ (理論と実践)

安藤 守秀 (大垣市民病院呼吸器内科)

座長：宮川 哲夫 (昭和大学大学院保健医療学研究科呼吸ケア領域)

よくわかるセミナー15 (BS15)

14:55~15:35 第6会場 (1号館 4階 141+142)

今はこうする！人工呼吸患者の鎮静管理

茂呂 悦子 (自治医科大学附属病院集中治療部)

座長：鶴田 良介 (山口大学大学院医学系研究科
救急・総合診療医学分野)

よくわかるセミナー16 (BS16)

15:40~16:20 第6会場 (1号館 4階 141+142)

基礎から学ぶ！小児の呼吸管理

川崎 達也 (静岡県立こども病院小児集中治療センター)

座長：植田 育也 (埼玉県立小児医療センター集中治療科)

ランチョンセミナー9 (LS9) 

12:00~12:50 第1会場 (4号館 1階 白鳥ホール北)

Diaphragm pacing – 横隔膜ペーシングによる新たな呼吸療法

Raymond P. Onders (University Hospitals Case Medical Center, USA)

座長：鈴木 康之 (国立成育医療研究センター手術・集中治療部)

共催：USCI ジャパン株式会社

ランチョンセミナー10 (LS10) 

12:00~12:50 第2会場 (4号館 1階 白鳥ホール南)

Lung protective ventilation with INTELLiVENT-ASV

Marco Maggiorini (Medical Intensive Care Unit, University Hospital
Zürich, Switzerland)

座長：福岡 敏雄 (倉敷中央病院救命救急センター)

共催：日本光電工業株式会社

ランチョンセミナー11 (LS11)

12:00~12:50 第3会場 (4号館 3階 432+431)

人工呼吸管理中の鎮痛・鎮静の考え方

谷口 巧 (金沢大学医薬保健研究域医学系麻酔・集中治療医学分野)

座長：大塚 将秀 (横浜市立大学附属市民総合医療センター
集中治療部)

共催：ファイザー株式会社/ホスピーラ・ジャパン株式会社

ランチョンセミナー12 (LS12)

12:00~12:50 第4会場 (1号館 4階 レセプションホール東)

間質性肺炎急性増悪に伴うDICの治療

津島 健司 (千葉大学医学部附属病院呼吸器内科)

座長：川前 金幸 (山形大学医学部麻酔科学講座)

共催：旭化成ファーマ株式会社



ランチョンセミナー13 (LS13)

12:00~12:50 第5会場 (1号館 4階 レセプションホール西)

ARDSのEarly Mobilization～治療方針とリハビリ介入の実際～

堀部 達也 (東京女子医科大学リハビリテーション部)

座長：尾崎 孝平 (医療法人社団顕鐘会神戸百年記念病院
麻酔集中治療部)

共催：パラマウントベッド株式会社

ランチョンセミナー14 (LS14)

12:00~12:50 第6会場 (1号館 4階 141+142)

重症ARDSに対するサポート療法～ECMOと血液浄化の併用～

市場 晋吾 (日本医科大学付属病院外科系集中治療科)

座長：橋本 悟 (京都府立医科大学附属病院集中治療部)

共催：バクスター株式会社

ランチョンセミナー15 (LS15)

12:00~12:50 第7会場 (1号館 3階 131+132)

肺炎診療におけるプロカルシトニン (PCT) の有用性

石田 直 (公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院呼吸器内科)

座長：公文 啓二 (医療法人沖縄徳洲会吹田徳洲会病院)

共催：サーモフィッシャーダイアグノスティックス株式会社

ランチョンセミナー16 (LS16)

12:00~12:50 第8会場 (1号館 3階 133+134)

ICUにおけるABCDEバンドルの実践

森松 博史 (岡山大学病院集中治療部)

座長：藤野 裕士 (大阪大学大学院医学系研究科生体統御医学講座
麻酔・集中治療医学教室)

共催：ドレーゲル・メディカルジャパン株式会社

シンポジウム8 (S8)

8:40~10:40 第3会場 (4号館 3階 432+431)

地域での切れ目のない呼吸ケアを目指して

座長：鮎川 勝彦 (飯塚病院)
春田 良雄 (公立陶生病院臨床工学部)

- S8-1 地域医療支援病院としての果たすべき役割
飛野 和則 (飯塚病院呼吸器内科)
- S8-2 臨床工学技士としての在宅ケアへの取り組み
田中 恵子 (JA広島総合病院臨床工学科)
- S8-3 メーカーとして地域呼吸ケアで目指すもの
前川 将紀 (フィリップス・レスピロニクス合同会社営業本部営業統括部)
- S8-4 在宅酸素療法導入症例の在宅呼吸ケアネットワーク - 当科における地域連携・多職種協働の取り組み -
加藤 聡之 (刈谷豊田総合病院呼吸器・アレルギー内科)
- S8-5 急性期病院から回復期病院への呼吸ケアの継続 - 認定看護師による実践研修支援で得られた行動変化とみえてきた課題 -
野口あすか (福岡県済生会福岡総合病院慢性呼吸器疾患看護認定看護師)
- S8-6 筋萎縮性側索硬化症患者の地域呼吸ケア体制の構築における看護の役割
中山 優季 (公益財団法人東京都医学総合研究所難病ケア看護プロジェクト)

シンポジウム9 (S9)

9:40~11:40 第1会場 (4号館 1階 白鳥ホール北)

Awake ECMO

座長：市場 晋吾 (日本医科大学付属病院集中治療部)
中村 智之 (藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)

- S9-1 ECMOによって命拾い、人生これから！
杉浦 光行 (患者代表：株式会社ビック合成樹脂代表取締役)
- S9-2 患者のそばで生活を援助する～ Awake ECMO 看護師の立場から～
河合 佑亮 (藤田保健衛生大学病院看護部ICU)
- S9-3 当ICUにおける覚醒下ECMOにむけての取り組み
原 嘉孝 (藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)
- S9-4 リハビリテーションの立場から
平澤 純 (公立陶生病院中央リハビリテーション部)
- S9-5 当院における awake ECMO の現状
菅 なつみ (千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学)
- S9-6 重症呼吸不全患者に対する awake ECMO 管理の現況と見えてきた問題点
鈴木 裕之 (前橋赤十字病院高度救命救急センター集中治療科・救急科)
- S9-7 Awake ECMO の適応と展望
萩原 祥弘 (東京都立多摩総合医療センター救命救急センター)



- S9-8 カロリンスカでのAwake ECMOの経験
青景 聡之 (かわぐち心臓呼吸器病院循環器科・集中治療科)

パネルディスカッション3 (PD3)

8:40~10:40 第5会場 (1号館 4階 レセプションホール西)

人工呼吸器離脱困難小児の管理

座長：中川 聡 (国立成育医療研究センター病院集中治療科)
竹内 宗之 (大阪府立母子保健総合医療センター集中治療科)

- PD3-1 小児における人工呼吸中の呼吸努力・呼吸仕事量の評価
内山 昭則 (大阪大学医学部附属病院集中治療部)

- PD3-2 抜管後のNPPVとHFNC
川崎 達也 (静岡県立こども病院小児集中治療センター)

- PD3-3 早期の気管切開
壺井 伯彦 (国立成育医療研究センター集中治療科)

- PD3-4 小児気管切開後の呼吸管理の問題点
橘 一也 (大阪府立母子保健総合医療センター麻酔科)

協賛：エア・ウォーター防災株式会社

パネルディスカッション4 (医工連携プログラム) (PD4)

13:00~14:30 第3会場 (4号館 3階 432+431)

人工呼吸器開発における医工連携

座長：中川 聡 (国立成育医療研究センター病院集中治療科)

- PD4-1 人工呼吸器開発における医行連携 医側の試み～人工呼吸モードを評価する～
竹内 宗之 (大阪府立母子保健総合医療センター集中治療科)

- PD4-2 人工呼吸器を作る側の悩み。現場のニーズをもっと知りたい。
中根 伸一 (株式会社メトラン)

パネルディスカッション5 (PD5)

14:10~16:10 第5会場 (1号館 4階 レセプションホール西)

RSTの現状と課題～これから先のチーム医療に向けて～

座長：長谷川隆一 (筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター・
総合病院水戸協同病院救急・集中治療科)
春田 良雄 (公立陶生病院臨床工学部)

- PD5-1 呼吸療法サポートチームの必然性から昇華まで～医師の立場からみたRSTの現状と課題～
西村 直樹 (聖路加国際病院呼吸器内科)

- PD5-2 これからも「RSTには臨床工学技士が必要！」と言ってもらうために
開 正宏 (名古屋第一赤十字病院医療技術部臨床工学技術課兼教育研修推進室)

- PD5-3 当院RSTの過去と現在、そしてこれから先のチーム医療に向けて
松本 武志 (JA長野厚生連佐久総合病院佐久医療センター理学療法科)

- PD5-4 急性期からの呼吸療法と一般病棟支援
藤岡 智恵 (飯塚病院集中治療室)
- PD5-5 歯科医師としてのRSTとの関わり
大林 修文 (岡崎市民病院歯科口腔外科)
- PD5-6 呼吸ケアサポートチーム (RST) の変化
長谷川隆一 (筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター/
水戸協同病院救急・集中治療科)

パネルディスカッション6 (PD6)

15:00~17:00 第9会場 (2号館 3階 231)

人工呼吸器の適正使用と人工呼吸中の安全管理

座長：齋藤 浩二 (東北大学病院集中治療部)
相嶋 一登 (横浜市立市民病院臨床工学部)

- PD6-1 看護師から見た人工呼吸療法に潜む危険
南條 裕子 (東京大学医学部附属病院看護部)
- PD6-2 加温加湿に潜む危険
梶原 吉春 (社会医療法人財団大和会東大和病院臨床工学科)
- PD6-3 病態と換気設定：危険な例
山口 嘉一 (横浜市立大学大学院医学研究科生体制御・麻酔科学)
- PD6-4 小児の人工呼吸管理中のインシデント
竹内 宗之 (大阪府立母子保健総合医療センター集中治療科)
- PD6-5 人工呼吸器の停止事例-日本呼吸療法医学会人工呼吸管理安全対策委員会集計より
大塚 将秀 (日本呼吸療法医学会人工呼吸管理安全対策委員会前委員長)

パネルディスカッション7 (PD7)

15:10~17:00 第1会場 (4号館 1階 白鳥ホール北)

High Flow Oxygen Therapy —理論から臨床実施まで—

座長：蝶名林直彦 (聖路加国際病院呼吸器センター)
小谷 透 (昭和大学医学部麻酔科学講座)

- PD7-1 HFOTの臨床効果に関わるメカニズム～呼吸生理学的側面から～
佐藤 晋 (京都大学医学部附属病院リハビリテーション部・呼吸器内科)
- PD7-2 EITを用いたHFNC中の肺内ガス分布解析
庄野 敦子 (島根大学医学部麻酔学教室)
- PD7-3 急性期・終末期医療におけるHFOTの使用実態
森山 潔 (杏林大学医学部麻酔科学教室)
- PD7-4 High-Flow Therapy 導入失敗時における早期判断指標の検討
曾根玲司那 (がん・感染症センター都立駒込病院麻酔科臨床工学室)
- PD7-5 高度低酸素性呼吸不全における経鼻高流量酸素療法の効用と限界
公文 啓二 (吹田徳洲会病院集中治療センター)



パネルディスカッション8 (緊急企画) (PD8)

15:10~16:50 第2会場 (4号館 1階 白鳥ホール南)

緊急報告: H1N1 インフルエンザと急性呼吸不全

座長: 竹田 晋浩 (かわぐち心臓呼吸器病院)

- PD8-1 重症インフルエンザの病理
長谷川秀樹 (国立感染症研究所感染病理部)
- PD8-2 2016年全国調査によるインフルエンザ関連急性呼吸不全の現状
大下慎一郎 (広島大学大学院医歯薬保健学研究院救急集中治療医学)
- PD8-3 25例を超える respiratory ECMO の経験を経て臨んだインフルエンザ2015による重症呼吸不全2例
鈴木 裕之 (前橋赤十字病院高度救命救急センター集中治療科・救急科)
- PD8-4 人工呼吸管理を要したH1N1型インフルエンザに伴う重症肺炎の5例
後藤 祐也 (自治医科大学集中治療部・
成育医療研究センター手術集中治療部集中治療科)
- PD8-5 2015年度のH1N1インフルエンザ肺炎へECMOを導入した1例
萩原 祥弘 (東京都立多摩総合医療センター救命救急センター)
- PD8-6 CTによる経時的評価が治療介入に有用であったH1N1インフルエンザによる最重症ARDSのECMOによる1救命例
阿南 圭祐 (済生会熊本病院呼吸器内科)

ワークショップ3 (WS3)

8:40~10:40 第2会場 (4号館 1階 白鳥ホール南)

早期リハビリテーションエキスパートコンセンサス

座長: 尾崎 孝平 (神戸百年記念病院麻酔集中治療部)

神津 玲 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科・長崎大学病院)

- WS3-1 早期リハビリテーション総論
飯田 有輝 (海南病院リハビリテーション科)
- WS3-2 早期離床・運動療法
山下 康次 (市立函館病院中央医療技術部リハビリ技術科・
日本集中治療医学会早期リハビリテーション検討委員会委員)
- WS3-3 早期リハビリテーションエキスパートコンセンサス:呼吸リハビリテーション
安藤 守秀 (大垣市民病院呼吸器内科)
- WS3-4 早期リハビリテーションエキスパートコンセンサス『早期リハビリテーションの対象・開始および中止基準』
小幡 賢吾 (岡山赤十字病院リハビリテーション科・
集中治療医学会早期リハビリテーション検討委員会)
- WS3-5 早期リハビリテーションの体制
小松 由佳 (杏林大学医学部附属病院看護部・
日本集中治療医学会早期リハビリテーション検討委員会)

ワークショップ4 (WS4)

13:00~14:00 第5会場 (1号館 4階 レセプションホール西)

自発呼吸アセスメント指針作成ワーキンググループ報告

座長：尾崎 孝平 (神戸百年記念病院麻酔集中治療部)

WS4 自発呼吸アセスメント指針

尾崎 孝平 (日本呼吸療法医学会自発呼吸アセスメント指針作成WG (ワーキンググループ))

討論者：関口 浩至 (琉球大学大学院医学研究科救急医学講座)

間瀬 教史 (甲南女子大学看護リハビリテーション学部理学療法学科)

眞淵 敏 (兵庫医科大学病院リハビリテーション部)

森永 俊彦 (下関医療センター)

一般演題口演 18 (O18)

8:40~9:25 第7会場 (1号館 3階 131+132)

急性肺障害

座長：久木田一朗 (琉球大学大学院医学研究科救急医学講座)

土井 松幸 (浜松医科大学医学部附属病院集中治療部)

- O18-1 ブタにおける経肺熱希釈法のEVLWは肺障害の重症度、肺浮腫の程度を反映するか
酒井 俊和 (藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)
- O18-2 炎症反応が亢進した周術期において、高張アルブミンと晶質液が全拡張周期容量や肺血管外水分量に与える影響について
高木 俊介 (横浜市立大学附属病院集中治療部)
- O18-3 積極的な体交ドレナージでVV-ECMO導入を回避し救命した溺水からのsevere ARDSの一例
村山 誠弥 (公立西知多総合病院集中治療部・麻酔科)
- O18-4 左片側性浸潤影を認めた心原性肺水腫の1例
岡田 直己 (神戸大学医学部附属病院救命救急科)
- O18-5 化学療法開始前に敗血症性ショックから急性呼吸不全に至り、呼吸管理に難渋した小児急性白血病の2例
水口 壮一 (九州大学病院救命救急センター・九州大学大学院成長発達医学分野)

一般演題口演 19 (O19)

8:40~9:25 第8会場 (1号館 3階 133+134)

ECMO2 (症例)

座長：鈴木 裕之 (前橋赤十字病院高度救命救急センター集中治療科・救急科)

南 茂 (東京女子医科大学病院臨床工学部)

- O19-1 覚醒下ECMO管理を行い後遺症なく社会復帰できた重症肺炎の1例
山添 泰佳 (藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)



- O19-2 重症市中肺炎に対し awake VV-ECMO にて管理した一例
秋本 貴子 (手稲溪仁会病院麻酔科集中治療部)
- O19-3 胸膜悪性中皮腫術後発生した肺癆およびそれに続発した肺炎 / ARDS に対し、分離肺換気及び V-V ECMO にて呼吸管理を行った一例
増田 孝広 (東京医科歯科大学医学部附属病院集中治療部)
- O19-4 Halo-vest 装着中の頸髄損傷患者の心肺停止後重症呼吸不全に対する VV-ECMO の使用経験
鈴木茂利雄 (東京都立多摩総合医療センター救命救急センター)
- O19-5 重症胸部外傷による呼吸不全に対して抗凝固剤を用いずに VV-ECMO を施行した経験
関 善久 (前橋赤十字病院医療技術部臨床工学技術課)

一般演題口演 20 (O20)

9:25~10:19 第7会場 (1号館 3階 131+132)

HFOV・BCV

座長: 大下慎一郎 (広島大学大学院救急集中治療医学)
横山 俊樹 (公立陶生病院呼吸器・アレルギー疾患内科)

- O20-1 高頻度振動換気においてカフリークが換気に及ぼす影響: モデル肺を用いた検討
西松 篤則 (高知大学医学部医学科先端医療学コース災害・救急医療班)
- O20-2 当院における HFOV 施行時のカフ・リークの使用経験
小山 昌利 (公立陶生病院臨床工学部)
- O20-3 ECPR 後の肺出血に対して HFOV で管理した1症例
櫻谷 正明 (JA 広島総合病院救急・集中治療科)
- O20-4 当院における BCV 導入症例の解析
門脇 徹 (国立病院機構松江医療センター呼吸器内科)
- O20-5 人工呼吸器装着中の脳神経外科疾患患者に対する BCV を用いた呼吸理学療法の効果の検討
濱田 郁子 (東海大学医学部附属病院高度救命救急センター)
- O20-6 BCV が有効であった慢性2型呼吸不全の2例
西川恵美子 (国立病院機構松江医療センター呼吸器内科)

一般演題口演 21 (O21)

9:25~10:10 第8会場 (1号館 3階 133+134)

RST1

座長: 藤本 潤一 (横浜労災病院中央集中治療部)
森松 静 (東京大学大学院工学系研究科医療社会システム工学寄附講座 / 医療法人社団利定会大久野病院)

- O21-1 当院の RST 活動~チーム医療の大切さ~
草野 信悟 (市立長浜病院呼吸ケアサポートチーム (RST))
- O21-2 筑波大学附属病院における Respiratory Support Team の活動
萩谷 圭一 (筑波大学附属病院救急・集中治療部)

- O21-3 当院での呼吸ケアサポートチームに携わる理学療法士の役割
管野 敦哉 (札幌医科大学附属病院リハビリテーション部)
- O21-4 当院におけるRST活動と臨床工学技士の関わり
伊佐 彩子 (新座志木中央総合病院臨床工学科)
- O21-5 当院のRST CEの挑戦
小川 輝之 (札幌医科大学附属病院臨床工学部)

一般演題口演22 (O22)

10:10~10:55 第8会場 (1号館 3階 133+134)

RST2

座長：森永 俊彦 ((独) 地域医療機能推進機構下関医療センター麻酔科)
岡本 一彦 (日本大学病院臨床工学室)

- O22-1 当院RSTにおける実習を中心とした院内呼吸ケア講習会の現状
藤本 和志 (東京医療センター)
- O22-2 当院RST介入患者の介助端坐位実施状況と退院時の動作能力について
駒坂 光朗 (恩賜財団済生会福岡総合病院リハビリテーション部)
- O22-3 人工呼吸管理に関連するインシデント事例の分析から見た今後のRST活動の課題
本家 淳子 (磐田市立総合病院)
- O22-4 在宅医療に対するRSTの関わり～緩和ケアチームと協働し退院調整を実施した事例～
萩野 裕夏 (東京慈恵会医科大学附属第三病院RST (呼吸療法サポートチーム))
- O22-5 狭圧による両側多発肋骨骨折に対してRST介入により早期離床・早期抜管が可能であった1症例
齋藤 慎 (公立富岡総合病院臨床工学科)

一般演題口演23 (O23)

10:19~10:55 第7会場 (1号館 3階 131+132)

気道管理2

座長：遠井 健司 (静岡済生会総合病院麻酔科)
野口 裕幸 (北里大学保健衛生専門学院臨床工学専攻科)

- O23-1 全身麻酔下手術後に呼吸状態悪化から心肺停止を繰り返し、喉頭軟化症と診断された高齢者の一症例
竹下 淳 (独立行政法人国立病院機構京都医療センター救命救急科)
- O23-2 呼吸循環管理に難渋した気道熱傷後気管狭窄の一症例
阿部隆一郎 (大阪大学医学部附属病院麻酔集中治療部)
- O23-3 気管チューブカフ圧の自然脱気についての検討～材質および厚みからの比較～
道越 淳一 (小倉記念病院検査技師部工学課・大分大学大学院医学系研究科)
- O23-4 人工鼻を模擬的に閉塞させた際の流量変化
加藤 隆史 (三重大学医学部附属病院臨床工学部)



一般演題口演24 (O24)

10:55~11:40 第7会場 (1号館 3階 131+132)

小児呼吸不全

座長：齋藤 修 (東京都立小児総合医療センター救命・集中治療部集中治療科)
池山 貴也 (あいち小児保健医療総合センター集中治療科)

- O24-1 重症心身障害児の安全な呼吸管理を目指して—多職種チームによる介入を行って—
都 弓恵 (北播磨総合医療センター HCU)
- O24-2 小児の急性呼吸不全における非侵襲的人工呼吸管理の有効性
林 拓也 (神奈川県立こども医療センター救急診療科)
- O24-3 呼吸不全が原因でPICU (Pediatric Intensive Care Unit) に入室した免疫不全患児
11例のまとめ
松岡 若利 (九州大学病院救命救急センター・九州大学大学院成長発達医学分野)
- O24-4 慢性肺疾患に肺高血圧発作を合併し呼吸管理に難渋した急性呼吸不全乳児の一例
大杉 浩一 (浜松医科大学病院集中治療部)
- O24-5 (取り下げ)

一般演題口演25 (O25)

10:55~11:40 第8会場 (1号館 3階 133+134)

口腔ケア

座長：平尾 収 (大阪府立急性期・総合医療センター麻酔科)
林 真理 (社会医療法人製鉄記念八幡病院看護部)

- O25-1 手術室看護師による術中口腔ケアの試み
堀 笑佳 (福岡医療団千鳥橋病院)
- O25-2 人工呼吸器装着患者における多職種連携による口腔ケアの取り組み
山岸真由美 (公益社団法人福岡医療団千鳥橋病院)
- O25-3 持続的間欠式吸引器 (Push-To-Set TM: Ohio Medical, USA) の性能評価
布村 仁亮 (茨城県立こども病院臨床工学科)
- O25-4 経口挿管患者のオーラルケア～アズノール軟膏における保湿効果～
西 幸恵 (石川県立中央病院HCU)
- O25-5 経気管挿管患者に対する口腔ケアの検討—洗浄法と拭取り法による口腔内細菌数の
経時的変化に着目して—
入井 美保 (札幌医科大学附属病院集中治療部看護室)

一般演題口演26 (O26)

14:10~14:55 第7会場 (1号館 3階 131+132)

ハイフロー療法3

座長：佐藤 大三 (順天堂大学医学部麻酔科学ペインクリニック講座)
中島 正一 (社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院臨床工学室)

- O26-1 OptiFlowを用いたNPPV中断時の低酸素予防法の検証
諸見里 勝 (地方独立行政法人那覇市立病院看護部)
- O26-2 当院の人工心肺下心臓外科術後におけるハイフローシステム導入前後の再挿管に関する検討
吉見 整 (明理会中央総合病院臨床工学科)
- O26-3 ネーザルハイフローシステムにおける流量変化～騒音対策や各種カニューラの影響～
配野 治 (千葉メディカルセンター臨床工学部)
- O26-4 医療スタッフに必要なHigh-Flow Therapy普及に向けての準備と対策
曾根玲司那 (がん・感染症センター都立駒込病院臨床工学室・
がん・感染症センター都立駒込病院RSTチーム)
- O26-5 上気道狭窄症例に対する輪状甲状靱帯切開カニューレからの高流量酸素療法の経験
正岡 俊明 (鶴岡市立荘内病院呼吸器外科・鶴岡市立荘内病院RST)

一般演題口演27 (O27)

14:10~15:04 第8会場 (1号館 3階 133+134)

研究

座長：丸山 一男 (三重大学医学部麻酔集中治療学)
安田 英人 (医療法人鉄蕉会亀田総合病院集中治療科)

- O27-1 肺胞ガス交換に関する従来理論の再検討
北岡 裕子 (株式会社JSOLエンジニアリング事業部)
- O27-2 自発呼吸において経肺圧を増加させる因子の検討
林 久美子 (岡山大学病院臨床工学部)
- O27-3 低流量酸素投与時における新型オープンフェイスマスクと従来型酸素マスクの比較
小林 忠宏 (山形大学医学部附属病院麻酔科)
- O27-4 携帯型カプノメータの高地における有用性の検討
薊 隆文 (名古屋市立大学看護学部病態学(麻酔学)・
名古屋市立大学大学院医学研究科麻酔科学・集中治療医学)
- O27-5 第2報 表面筋電図を用いた頻呼吸時の呼吸筋の評価法
関口 浩至 (社会医療法人友愛会豊見城中央病院呼吸療法室・
琉球大学大学院医学研究科救急医学講座)
- O27-6 特発性肺線維症 (IPF) および気腫合併肺線維症 (CPFE) 患者の心臓血管外科手術成績について
古田島 太 (埼玉医科大学国際医療センター集中治療科)



一般演題口演28 (O28)

14:55~15:40 第7会場 (1号館 3階 131+132)

患者管理

座長：宮庄 浩司 (福山市民病院救命救急センター)
中西 美貴 (大阪大学医学部附属病院看護部)

- O28-1 敗血症患者におけるサルコペニアが及ぼす影響についての検討
藤崎 宣友 (兵庫医科大学救急・災害医学講座救命救急センター)
- O28-2 内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) 後の無機肺予防の検討—効果的な肺泡リクルート手技について—
竹山 和秀 (東海大学医学部外科学系麻酔科)
- O28-3 サイドストリーム型カプノメータで得られた特異なカプノグラム
磨田 裕 (埼玉医科大学国際医療センター集中治療科)
- O28-4 横隔膜厚測定による換気モードと呼吸筋疲弊の関連評価—自発換気モードは早期呼吸器離脱に有効か—
山田 成美 (国立病院機構長崎医療センター救命救急センター)
- O28-5 鎮痛・鎮静から自らの呼吸へのガイド—NAVA—
高橋大二郎 (福田病院小児科・福田病院新生児科)

一般演題口演29 (O29)

15:04~15:49 第8会場 (1号館 3階 133+134)

医工連携

座長：山下 幸一 (高知大学医学部麻酔科学・集中治療医学講座)
宮地 哲也 (帝京大学医学部附属溝口病院ME部)

- O29-1 気流可視化による開放型酸素投与器具での外気流影響に関する実験的考察
峰澤 里志 (岡崎市民病院医療技術局臨床工学室)
- O29-2 低流量の酸素供給で高濃度酸素吸入が可能な酸素マスクの開発
安部 俊吾 (田窪リウマチ・整形外科)
- O29-3 AIRVO2とハイフローセラピーシステムに関する比較検討
岡宮 宏 (埼玉医科大学国際医療センター MEサービス部)
- O29-4 レスピラトリーモニタ Nellcor™PM1000Nの呼吸数測定に関する検討
本田 勇二 (株式会社日立製作所日立総合病院臨床工学科)
- O29-5 酸素ボンベ残量低下を通知する警報装置の作製
五十嵐義浩 (聖マリアンナ医科大学病院クリニカルエンジニア部)

一般演題口演30 (O30)

15:40~16:25 第7会場 (1号館3階131+132)

症例

座長：野村 岳志 (横浜市立大学大学院医学研究科麻酔科学)
福光 一夫 (愛染橋病院麻酔科)

- O30-1 Bronchial Thermoplasty (BT) に対する全身麻酔に Dexmedetomidine と Midazolam を用いた1例
磯部 恵里 (藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)
- O30-2 肺腫瘍術後に高アンモニア血症による意識障害を合併した一例
京 道人 (広島大学大学院救急集中治療医学)
- O30-3 急性重症呼吸不全を発症した超高度肥満患者に対し、vvECMO導入を施行し救命しえた一例
徳永 蔵人 (日立総合病院救命救急センター)
- O30-4 気管支喘息重積発作から心停止となり呼吸管理に難渋した病的肥満患者の1例
高安 弘美 (昭和大学藤が丘病院救命救急センター・
昭和大学藤が丘病院呼吸器内科)
- O30-5 胸部解離性大動脈瘤に併発した特発性肺胞出血に対し Endobronchial Watanabe Spigot を用いた気管支充填術を施行した1例
坪内 宏樹 (一宮西病院麻酔科・集中治療部)

一般演題ポスター7 (P7)

9:40~10:29 ポスター会場1 (4号館3階436)

医療安全

座長：清水 雄 (筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター/
水戸協同病院麻酔科)

- P7-1 安全安心なNPPV管理にむけた取り組みの検討～体験型学習会とチェックリストを用いて～
中村 紀子 (広島医療生活協同組合広島共立病院看護部)
- P7-2 RST (呼吸サポートチーム) の活動による病棟看護師のインシデント件数の低下
中川 秀美 (第二岡本総合病院)
- P7-3 破損したディスプレイブルバイトブロックの再現性の検証
中ノ上洋憲 (国保水俣市立総合医療センター診療技術部臨床工学科)
- P7-4 人工呼吸器故障時に常備された用手換気装置によって迅速に対応できた事例の考察
土田 真人 (医療法人社団藤聖会八尾総合病院医療安全管理室)
- P7-5 タービン型人工呼吸器 Trilogy O2 の突然の異常動作を経験して
今泉 雅貴 (岡崎市民病院医療技術局臨床工学室)
- P7-6 当院での陽圧呼吸療法における臨床工学技士の役割
北村 陽子 (済生会福岡総合病院臨床工学部)
- P7-7 当院における移動困難症例の搬送経験
松岡 悠奈 (横浜市立大学附属病院MEセンター)



一般演題ポスター8 (P8)

9:40~10:22 ポスター会場1 (4号館 3階 436)

RST2

座長: 瀬尾龍太郎 (神戸市立医療センター中央市民病院救命救急センター)

- P8-1 A病院におけるRSTチーム活動の効果と今後の課題
曾 紅 (市立加西病院)
- P8-2 当院における呼吸サポートチーム設立までの経過と現在の取り組みについての検討
菅野 雅之 (高崎総合医療センター呼吸器外科・
高崎総合医療センター呼吸サポートチーム)
- P8-3 当センターにおける呼吸ケアチーム (RST Respiratory Support Team) の活動の紹介と今後の課題~院内研修会を通して~
安達 洋平 (独立行政法人国立病院機構福山医療センター)
- P8-4 A病院呼吸療法認定士の活動に対する現状調査~呼吸療法認定士の効果的な活用を目指して~
大塚 操 (旭川赤十字病院呼吸療法士会)
- P8-5 当院のRSTにおける看護師の活動状況について
福田 敦子 (独立行政法人国立病院機構東京医療センター RST)
- P8-6 人工呼吸器離脱後の呼吸ケア管理について - RST介入の役割 -
高橋 絢香 (新座志木中央総合病院臨床工学科)

一般演題ポスター9 (P9)

9:40~10:15 ポスター会場2 (4号館 3階 437)

ウィニング

座長: 今泉 均 (東京医科大学麻酔科学分野・集中治療部)

- P9-1 当院ICUにおける人工呼吸器早期離脱に向けた実践報告~他職種チームで取り組む実践の変化と今後の課題~
山本 由美 (公立昭和病院救命救急センター)
- P9-2 MEWS (modify early warning score) はICU入室時の挿管基準となるか
里井 陽介 (地方独立行政法人那覇市立病院)
- P9-3 人工呼吸器離脱と早期離床を同時に行う場合の工夫
原 賢史 (筑波大学附属病院水戸地域教育医療センター茨城県厚生連総合病院水戸協同病院臨床工学科)
- P9-4 高齢者における心臓外科手術後の人工呼吸器離脱に関する検討
坂本 祐希 (埼玉医科大学国際医療センター MEサービス部)
- P9-5 臨床工学技士の介入により一般病棟でのウィーニングが可能になった例
田中 達也 (新潟市民病院医療技術部臨床工学科)

一般演題ポスター10 (P10)

9:40~10:15 ポスター会場2 (4号館 3階 437)

呼吸理学療法・リハビリテーション

座長：鵜澤 吉宏 (亀田総合病院リハビリテーション室)

- P10-1 離床を拒否する人工呼吸患者の行動変容となった看護介入
村松 恵多 (藤田保健衛生大学病院看護部ICU)
- P10-2 TPPV 患者に対する早期歩行獲得を目指した一症例
藤原 勇太 (新座志木中央総合病院リハビリテーション科)
- P10-3 重症COPD患者に対する周術期呼吸リハビリテーションの経験
～病前身体活動に注目した2症例～
黒山 祐貴 (公立昭和病院リハビリテーション科・
昭和大学大学院保健医療学研究科呼吸ケア領域)
- P10-4 繰り返す去痰不全に対してチームによる計画的な気道クリアランスの管理が奏功した
急性期頸髄損傷患者の1例
及川 真人 (長崎大学病院リハビリテーション部)
- P10-5 呼吸不全を初期症状とした筋萎縮性側索硬化症に対する COPM を用いた作業療法
湯越 亮 (社会医療法人財団池友会新小文字病院リハビリテーション科)

一般演題ポスター11 (P11)

9:40~10:08 ポスター会場3 (4号館 3階 431)

NPPV

座長：武居 哲洋 (横浜市立みなと赤十字病院集中治療部)

- P11-1 長期NPPV患者において昼間覚醒自発呼吸時のPaO₂が長期予後に与える影響 - 至適
酸素投与量に関する考察 -
坪井 知正 (国立病院機構南京都病院呼吸器科)
- P11-2 鼻マスクの工夫により非侵襲的な人工呼吸の導入が可能となった重症心身障害児の1
例
名越 貴子 (独立行政法人国立病院機構鈴鹿病院臨床工学室)
- P11-3 二酸化炭素ナルコーシスを合併した肥満低換気症候群の患者を非侵襲的陽圧換気で管
理した一例
吉田 輔 (横浜市立大学附属病院麻酔科・集中治療部)
- P11-4 睡眠時NPPV中に気道狭窄・閉塞するデュシェンヌ型筋ジストロフィーの2症例
竹内伸太郎 (国立病院機構八雲病院看護部)



一般演題ポスター 12 (P12)

9:40~10:22 ポスター会場3 (4号館 3階 431)

成人の在宅呼吸管理2

座長：石原 英樹 (八尾徳洲会総合病院呼吸器内科)

- P12-1 重篤な呼吸器疾患のため人工呼吸管理を要しながらも在宅移行した2症例～発声の果たす役割～
水野 良子 (特定医療法人平成会平成会病院看護部)
- P12-2 筋萎縮性側索硬化症 (ALS) 人工呼吸療養者の合併症の経年的変化
松田 千春 (公益財団法人東京都医学総合研究所難病ケア看護プロジェクト)
- P12-3 非呼吸器疾患患者の人工呼吸導入について
山本 真 (大分協和病院内科)
- P12-4 チームで診療している肺結核後アスペルギローマ術後有癭性膿胸長期在宅人工呼吸療法患者の1例
稲垣 雅春 (総合病院土浦協同病院呼吸器外科)
- P12-5 長期酸素、長期NPPV症例における健康関連QOLと昼間のPaCO₂との関係
坪井 知正 (国立病院機構南京都病院呼吸器科)
- P12-6 長期酸素、長期NPPV症例における昼間のPaCO₂と睡眠の質・日中の眠気との関係
坪井 知正 (国立病院機構南京都病院呼吸器科)

第11回HFOVフォーラム (H)

14:40~16:40 第3会場 (4号館 3階 432+431)

座長：池山 貴也 (あいち小児保健医療総合センター集中治療科)

一般演題：症例報告、施設の使用状況など

- H-1 小児ARDSに対するHFOV使用例の死亡予測
芳賀 大樹 (大阪市立総合医療センター集中治療部)
- H-2 当院におけるHFOVの使用経験
利根澤 慧 (埼玉県立小児医療センター総合診療科・
埼玉県立小児医療センター集中治療科)

座長：関口 幸男 (篠ノ井総合病院救急科・集中治療科)
松田 憲昌 (小倉記念病院麻酔科・集中治療部)

小児HFOに関する最近の動向

- H-3 小児患者に対するhigh-frequency oscillation
中川 聡 (国立成育医療研究センター病院集中治療科)

外傷性肺損傷とHFO

- H-4 鈍的胸部外傷による肺胞出血に対するHFOVの有用性
檜垣 聡 (京都第二赤十字病院救急科)

特発性肺線維症とHFO

- H-5 間質性肺炎におけるHFOVを用いた急性期呼吸管理の可能性
横山 俊樹 (公立陶生病院呼吸器・アレルギー疾患内科)

成人領域でのHFO使用状況

- H-6 日本国内での成人HFOV使用状況
櫻谷 正明 (JA広島総合病院救急・集中治療科)

J-PADハンズオンセミナー

8:20~11:50 第9会場 (2号館 3階 231)

コーディネーター:

布宮 伸 (自治医科大学麻酔科学・集中治療医学講座集中治療医学部門)

インストラクター:

日本集中治療医学会J-PADガイドライン検討委員会委員

植村 桜 (大阪市民病院機構大阪市立総合医療センター教育研修センター)

古賀 雄二 (亀田医療大学成人看護学)

吹田奈津子 (日本赤十字社和歌山医療センター看護部)

茂呂 悦子 (自治医科大学附属病院集中治療部)

鶴田 良介 (山口大学大学院医学系研究科救急・総合診療医学講座)

西 信一 (兵庫医科大学集中治療医学科)

長谷川隆一 (筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター・
水戸協同病院救急・集中治療科)

ウェットラボ「目で見る呼吸管理」

13:30~14:30 / 15:30~16:30 第10会場 (2号館 3階 232+233)

インストラクター:

幸村 英文 (藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)

加納 正也 (豊川市民病院麻酔科)、他

協力: コヴィディエン ジャパン株式会社



早期リハビリテーションシミュレーションコース

14:00~17:00 第11会場 (2号館 2階 222+223)

コースディレクター:

鵜澤 吉宏 (亀田総合病院リハビリテーション室)

インストラクター:

医師

藤本 潤一 (横浜労災病院中央集中治療部)

理学療法士

鵜澤 吉宏 (亀田総合病院リハビリテーション室)

小幡 賢吾 (岡山赤十字病院リハビリテーション科)

飯田 有輝 (厚生連海南病院リハビリテーション科)

渡辺 伸一 (名古屋医療センターリハビリテーション部)

平澤 純 (公立陶生病院中央リハビリテーション部)

伊藤 武久 (厚生連海南病院リハビリテーション科)

野々山忠芳 (福井大学医学部附属病院リハビリテーション部)

臨床工学技士

小山 昌利 (公立陶生病院臨床工学部)

道永 祐希 (信州大学医学部附属病院MEセンター)

看護師

濱本 実也 (公立陶生病院集中治療室)

小島 朗 (名古屋大学医学部附属病院看護部)

河合 佑亮 (藤田保健衛生大学病院看護部ICU)

畑迫 伸幸 (厚生連海南病院集中治療部)

徳満 和実 (厚生連海南病院集中治療部)

協力: コヴィディエン ジャパン株式会社
パラマウントベッド株式会社